

事業区分	新規	事業名	会議室録音機器整備事業		
所管課	21	議会事務局	宇陀市予算		
事業の目的	アナログカセットテープの生産減や音声データのデジタル管理を図るため、第一委員会室のテープデッキからICデッキへ録音機器の更新を行う。		区分	No.	区分名
			款	1	議会費
			項	1	議会費
			目	1	議会費
			細目	1	議会費
根拠条例等					
総合計画					
H26年度事業の概要	第一委員会室のテープデッキからICデッキ(デジタル音声ソリッドステートレコーダー)へ録音機器の更新。		財源の内訳 (単位:千円)		
			分担金		
事業の成果	アナログのテープデッキからICデッキに更新することにより、音声データがデジタル化され、CDメディア(USBメモリー、SDカード)を使っての再生、録音が可能となり、議事録編さんやデータ管理等がスムーズに行える。		使用料		
			国費		
			県費		
			市債		
			その他		
			一般財源		187
			補正額		187
H26補正前予算額					
H26現計予算額		187			
事業の目標	会議室録音機器のデジタル化を図る。		特定財源の状況		
備考					

事業区分	新規	事業名	宇陀市ホームページリニューアル事業		
所管課	44	秘書広報情報課 (総務部)	宇陀市予算		
事業の目的	現在市が運用しているホームページ等のインターネットコンテンツは、市内外を問わず、広く多様な情報を発信できる重要な広報ツールである。特に、近年は、よりタイムリーな市政情報をはじめ観光情報など市の魅力の積極的な発信と、また防災や災害時における緊急情報媒体としての活用が望まれている。 今後、さらに現行システムの理解を深めるとともに、庁内でも積極的な情報発信を促進することで内容の拡充を図る。また、広報紙・SNS・自主放送番組等の他の広報媒体との連携を深め、効果的効率的な情報発信体系の確立をめざす。		区分	No.	区分名
	款	2	総務費		
	項	1	総務管理費		
	目	2	文書広報費		
	細目	1	文書広報費		
根拠条例等					
総合計画	基本計画 第5章 第4節 観光の振興 第6章 第1節 市民と行政の協働のまちづくり				
H26年度事業の概要	①サイト閲覧者の利便性を高めるため、スマートフォン・タブレットに向けてのホームページ配信サービスを開始する。モバイル端末対応にあたっては、位置情報サービスとの連動により観光地や公共施設へのナビゲート機能や災害時には避難所や安全地帯への誘導機能を付帯させる。 ②新たなホームページ活用の取り組みとして、オープンデータの積極的発信による民間活力の増進を図る。		財源の内訳 (単位:千円)		
	【各作業経費概要】 ・スマートフォン対応 988,200円 ・地図情報機能付帯 615,600円 ・地図情報機能(年間保守) 77,760円 ・XML変換作業 218,000円		分担金		
事業の成果	市民に対しては、地域の魅力を発信することにより郷土愛の醸成を図るとともに、市政情報の積極的発信による市政への関心と参加の促進を図る。 観光客や市外からのアクセス者に対しては、地域情報の発信により観光客誘致や宇陀市への訪問意欲を増進させる。また、災害時対応ツールとして市民の安全確保に寄与する。		使用料		
			国費		
			県費		
			市債		
			その他		
		一般財源	1,900		
		補正額	1,900		
		H26補正前予算額			
		H26現計予算額	1,900		
事業の目標	利便性の向上と掲載内容の充実は直接的にアクセス数の増に反映する。アクセス数の多いサイトほど、情報ツールとしての魅力が高いため、今後広告媒体としての需要も望まれる。 ① アクセス数の向上(対前年度比 +10%) ② 有料広告掲載数(常時10マス掲載)		特定財源の状況		
備考					

事業区分	新規	事業名	大宇陀地域事務所敷地内排水修繕工事			
所管課	45	管財課	(総務部)			
			宇陀市予算			
事業の目的	地域事務所内車庫に隣接する法面が、地域事務所内の集水マス及び配水管の損傷により、雨水が漏れ、崩落している。その土砂が隣接するマンションの水路に堆積し、そのため越流した水が、土砂とともにマンション駐車場へ流れ込む状態である。職員が、土砂上げを繰り返し行っているが、根本的な改善には至っていない。また、降雨の度に住民からの苦情、強い改善要望があり、これから、梅雨、台風時の大雨のことも考慮し、近隣住民の安心安全な生活のためにも緊急に対応する必要がある。			区分	No.	区分名
				款	2	総務費
				項	1	総務管理費
				目	3	財産管理費
細目	20	大宇陀地域事務所 財産管理費				
根拠条例等						
総合計画	基本計画 第3章 第5節 安全・安心な暮らしの実現					
H26年度 事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・φ350雨マス交換一式…6,600円 ・φ100パイプ交換10m…8,500円 ・パイプ継手一式…13,500円 ・崩落部分埋め戻し一式(0.5㎡)…25,000円 ・その他工賃等…44,000円 ・消費税…7,808円 合計…105,408円			財源の内訳 (単位:千円)		
				分担金		
			使用料			
			国費			
			県費			
			市債			
			その他			
事業の成果	危険箇所を改善することにより、市民の生活環境の改善、安全性の向上を図る。			一般財源	106	
				補正額	106	
				H26補正前予算額		
				H26現計予算額	106	
事業の目標	市民が安全・安心に暮らせる環境づくりの推進。			特定財源の状況		
備考						

事業区分	新規	事業名	案内標識板表示変更事業				
所管課	81	企画課	(企画財政部)		宇陀市予算		
事業の目的	旧表示で表示されている案内板の取替を行う。				区分	No.	区分名
					款	2	総務費
					項	1	総務管理費
					目	4	企画費
					細目	1	本庁企画費
根拠条例等							
総合計画							
H26年度事業の概要	市役所前県道に設置している案内標識板(市役所及び榛原地域事務所表示)の表示変更を行う。 寸法:H70cm × W280cm				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	市民の混乱解消が図られる。				使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他		
					一般財源	308	
					補正額	308	
H26補正前予算額							
H26現計予算額	308						
事業の目標	市民の混乱解消を図る。				特定財源の状況		
備考							

事業区分	継続	事業名	奈良交通路線バス運行補助				
所管課	81	企画課	(企画財政部)		宇陀市予算		
事業の目的	市民の移動手段の確保と利便性の向上を図ることを目的とする。				区分	No.	区分名
					款	2	総務費
					項	1	総務管理費
					目	4	企画費
					細目	1	本庁企画費
根拠条例等	宇陀市生活路線バス運行対策費補助金交付要綱						
総合計画	基本計画 第3章 第3節 公共交通機関の充実						
H26年度事業の概要	社会情勢の変化により公共交通の利用者が減少し、バス路線の維持が困難となっている。奈良交通株式会社が経営改善による減便等を行った場合の運行の損失について補填を行う。 榛原ネオポリス線 6,833千円 奥宇陀線(上内牧系統) △1,500千円				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	民間バス路線の維持 榛原ネオポリス線 年間利用者 約245,000人				使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他		
					一般財源	5,333	
事業の目標	民間バス路線を維持することにより、市民の移動手段の確保や利便性の向上のみならず、交流人口の増加、商業や観光振興に寄与する。				補正額	5,333	
					H26補正前予算額	4,100	
					H26現計予算額	9,433	
備考					特定財源の状況		

事業区分	新規	事業名	宇陀市地域公共交通に係る総合的な交通計画策定業務負担金					
所管課	81	企画課	(企画財政部)					
事業の目的	市域の公共交通の中でとりわけ乗合バス事業が大きな岐路に立っていることから、改めて市民の移動に対する需要や必要性を調査し、今後の地域交通の維持確保についての方向性を確認し、新たな交通体系を構築するため、地域公共交通に関する総合的な交通計画の見直しを行い生活交通ネットワークに反映させる。				宇陀市予算			
					区分	No.	区分名	
					款	2	総務費	
					項	1	総務管理費	
					目	4	企画費	
細目	1	本庁企画費						
根拠条例等								
総合計画	基本計画 第3章 第3節 公共交通機関の充実							
H26年度事業の概要	宇陀市地域公共交通活性化再生協議会に対する市負担金 策定業務費 国庫補助金 市負担金 6,000千円 - 3,100千円 = 2,900千円				財源の内訳 (単位:千円)			
	【策定調査業務内容】 ①現計画の取組状況確認 ②現状整理・地域の現状把握・分析 ③公共交通に関するアンケート ④市内交通事業者ヒアリング調査 ⑤市の公共交通が抱える課題抽出(概算需要予測と目標設定) ⑥地域公共交通に係る総合的な交通計画の策定				分担金			
事業の成果	市民の誰もが住みやすく暮らしやすいまちの実現に向け、市民のニーズを把握し、ニーズにあった効率的な路線の設定(再編)運行形態を確立することにより、都市構造の将来像に合う実現可能で持続性のある新たな公共交通体制が図られる。				使用料			
					国費			
					県費			
					市債			
		その他						
		一般財源	2,900					
		補正額	2,900					
		H26補正前予算額						
		H26現計予算額	2,900					
事業の目標	市民の移動手段の確保や利便性の向上のみならず、交流人口の増加、商業や観光振興に寄与する。				特定財源の状況			
備考								

事業区分	新規	事業名	薬草で健康なまちづくり事業				
所管課	81	企画課	(企画財政部)		宇陀市予算		
事業の目的	生薬や漢方に関する啓発講座等への住民参加を通じて、近年見直されつつある東洋医学や漢方に対する正確な知識や利用方法を普及させ、住民の日常的な健康管理を改善させる。				区分	No.	区分名
					款	2	総務費
					項	1	総務管理費
					目	4	企画費
					細目	9	ウェルネスシティ推進費
根拠条例等							
総合計画	基本計画 第2章 第1節 健康づくりの推進						
H26年度事業の概要	薬草で健康なまちづくり事業				財源の内訳 (単位:千円)		
	薬草セミナー講師謝礼 250千円 薬草を使った料理育成者養成講座講師謝礼 90千円 旅費 10千円 薬草を使った料理育成者養成講座材料費等 69千円 薬草セミナー広報チラシ 81千円				分担金		
事業の成果	「薬草で健康なまちづくり」講演会を開催し、受講者が薬草に興味を持ってもらうとともに薬草料理伝道師を育成することにより、薬草をモチーフとした健康なまちづくりの促進が期待される。				使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他		
一般財源	500						
補正額	500						
H26補正前予算額							
H26現計予算額	500						
事業の目標	近年増加している生活習慣病を薬草の知識や利用方法を普及させ、健康に対する意識を高め、健康なまちづくりを推進する。				特定財源の状況		
備考							

事業区分	継続	事業名	過疎地有償運送事業補助金(らくらくバス)				
所管課	81	企画課	(企画財政部)		宇陀市予算		
事業の目的	菟田野地域内の公共交通廃止路線及び、公共交通空白地域の交通手段の確保を目的として、宇陀市社会福祉協議会が事業主体となり実施している有償運送事業に対して補助金を交付する。				区分	No.	区分名
					款	2	総務費
					項	1	総務管理費
					目	4	企画費
					細目	40	菟田野地域事務所企画費
根拠条例等	「菟田野らくらくバス」運行事業補助金交付要綱						
総合計画	基本計画 第3章 第3節 公共交通機関の充実						
H26年度事業の概要	奈良交通株式会社の経営改善に伴い桜井菟田野線の大宇陀から菟田野間が平成26年9月末で廃止されるため、現在、菟田野地域内を循環している過疎地有償運送バス(らくらくバス)を大宇陀地域まで延伸することで、地域住民の生活交通を維持・確保する。				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	奈良交通株式会社が廃止した区間を過疎地有償運送バス(らくらくバス)で代替運行することで、交通弱者の移動手段を確保することができる。 特に菟田野地域から大宇陀高校に通学する生徒の通学手段が確保できるという点で大きな成果があると考えます。				使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他		
					一般財源	588	
					補正額	588	
H26補正前予算額	1,883						
H26現計予算額	2,471						
事業の目標					特定財源の状況		
備考	大宇陀高校に通学する生徒の通学手段の確保が図られる。						

事業区分	新規	事業名	大宇陀春日集会所配管修繕工事				
所管課	41	総務課	(総務部)		宇陀市予算		
事業の目的	以前、奈良法務局宇陀支局から集会所に改修する際に、埋設されている水道の配管工事までなされなかった。本年1月頃、自治会長より漏水しているのではないかとの連絡があり、地域事務所職員、水道局職員に確認してもらったが、漏水箇所を特定できなかった。そこで、業者に依頼したところ、埋設配管の腐食によるものだと判明し、修繕を行った。一時的に漏水は止まったかに思われたが、数日後、再び、自治会長より同様の連絡があり、今回、緊急的に全面的修繕をすることにより、地域のコミュニティの場所として十分な活用をはかる。				区分	No.	区分名
					款	2	総務費
					項	1	総務管理費
					目	7	自治振興費
					細目	20	大宇陀地域事務所自治振興費
根拠条例等							
総合計画	基本計画 第6章 第3節 地域力の再生						
H26年度事業の概要	春日集会所配管修繕工事(埋設配管) ・配管材料費一式…84,500円 ・工事費等…376,624円 ・消費税…36,890円 合計…498,014円				財源の内訳 (単位:千円)		
	事業の成果	住民のコミュニティの場としての十分な活用を行うため、安全性、利便性の向上をはかる。				分担金	
使用料							
国費							
県費							
市債							
その他							
一般財源	499						
補正額	499						
H26補正前予算額							
H26現計予算額	499						
事業の目標	地域住民が、安心して利用できる自治会活動の拠点としての活用。				特定財源の状況		
備考							

事業区分	継続	事業名		貸与集会所等整備委託料			
所管課	41	総務課	(総務部)	宇陀市予算			
事業の目的	地域コミュニティを目的とした集会所の管理運営支援			区分	No.	区分名	
				款	2	総務費	
				項	1	総務管理費	
				目	7	自治振興費	
				細目	60	榛原地域自治振興費	
根拠条例等	指定管理者による宇陀市集会所コミュニティ施設整備事業に係る委託料交付要綱に準じる貸借契約						
総合計画	基本計画 第4章 第4節 生涯学習の充実						
H26年度事業の概要	・山辺三地区集会所構造改善センター (トイレの漏水修繕・内装張り替え) 309千円 トイレの漏水修繕とともに、和式トイレと小便器が狭い空間に設置されており、利用者の高齢化に伴い、個室への出入りや用便時に不便を生じている。洋式化とともに事故防止の手すりの設置を行う。			財源の内訳 (単位:千円)			
				分担金			
事業の成果	和式トイレを洋式トイレに改修することや、手すりを設置することにより高齢者や障害をお持ちの方々の施設利用が図れる。			使用料			
				国費			
				県費			
				市債			
				その他			
				一般財源	309		
補正額	309						
H26補正前予算額	1,661						
H26現計予算額	1,970						
事業の目標	よりよい地域づくりのための活動の活発化に向けて、住民活動の支援に努める。			特定財源の状況			
備考							

事業区分	新規	事業名	一般コミュニティ助成事業															
所管課	41	総務課	(総務部)															
事業の目的 財団法人自治総合センターの宝くじの普及広報事業である一般コミュニティ助成事業を活用し、健全な地域の発展や、自治会活動の充実を図る。					宇陀市予算													
					区分	No.	区分名											
					款	2	総務費											
					項	1	総務管理費											
					目	7	自治振興費											
細目	84	コミュニティ助成事業費																
根拠条例等	宇陀市コミュニティ助成事業費助成金交付要綱																	
総合計画	基本計画 第6章 第3節 地域力の再生																	
H26年度事業の概要	宝くじの収入を財源として財団法人自治総合センターがコミュニティ活動に助成を行うことにより、地域社会の健全な発展を図るとともに、宝くじの社会貢献広報事業を行うもので、申請は市町村・都道府県経由で行われ、補助金は市町村経由でコミュニティ組織に交付される。 募集にあたっては、市内4地域の連合自治会を通じて周知を行い、応募申請22件に対し、5件が採択された。 生活安全施設・コミュニティ備品整備 1件 2,400千円 コミュニティー活動備品整備 4件 7,900千円 合計 5件 10,300千円				財源の内訳 (単位:千円)													
	住民が自主的に行うコミュニティ活動の促進を図り、地域の連帯感に基づく自治意識を盛り上げることを目指し、コミュニティ活動に直接必要な設備等の整備を行う。 平成25年度実績				分担金 使用料 国費 県費 市債 その他 10,300 一般財源 補正額 10,300 H26補正前予算額 H26現計予算額 10,300													
事業の成果	<table border="1"> <thead> <tr> <th>平成25年度実績</th> <th>件数</th> <th>千円</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>集会所備品の整備</td> <td>3件</td> <td>6,900</td> </tr> <tr> <td>伝統行事備品の整備</td> <td>1件</td> <td>2,500</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>4件</td> <td>9,400</td> </tr> </tbody> </table>				平成25年度実績	件数	千円	集会所備品の整備	3件	6,900	伝統行事備品の整備	1件	2,500	合計	4件	9,400		
平成25年度実績	件数	千円																
集会所備品の整備	3件	6,900																
伝統行事備品の整備	1件	2,500																
合計	4件	9,400																
事業の目標	コミュニティの健全運営の発展及び宝くじの普及広報を行う。				特定財源の状況 財団法人自治総合センター コミュニティー助成金 10,300千円													
備考																		

事業区分	継続	事業名	防犯灯設置事業補助金																																									
所管課	41	総務課	(総務部)		宇陀市予算																																							
事業の目的	市民の防犯意識を高め、犯罪の防止と通行の安全を図るため、自治会等に対し、防犯灯設置事業に要する経費について補助するもの。 防犯灯のLED化を推進することにより電力消費が抑えられ、省エネとCO ₂ 削減など環境配慮の高揚を図る。 また、LED光にすることにより夜道がより明るくなることにより、犯罪抑止力を高める。					区分	No.	区分名																																				
						款	2	総務費																																				
						項	1	総務管理費																																				
						目	10	生活安全対策費																																				
細目	1	本庁生活安全対策費																																										
根拠条例等	宇陀市防犯灯設置事業補助金交付要綱																																											
総合計画	基本計画 第3章 第5節 安全・安心な暮らしの実現																																											
H26年度事業の概要	防犯灯設置事業補助金の対象となる経費、補助金 (1基あたり)					財源の内訳 (単位:千円)																																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>補助対象経費</th> <th>補助金額</th> <th>件数</th> <th colspan="2">円</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">防犯灯の新設</td> <td>蛍光灯</td> <td>10千円</td> <td>3</td> <td>30千円</td> </tr> <tr> <td>LED</td> <td>14千円</td> <td>5</td> <td>70千円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">既設電柱の照明器具の新設</td> <td>蛍光灯</td> <td>6千円</td> <td>7</td> <td>42千円</td> </tr> <tr> <td>LED</td> <td>10千円</td> <td>15</td> <td>150千円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">照明器具の更新</td> <td>蛍光灯</td> <td>3千円</td> <td>5</td> <td>15千円</td> </tr> <tr> <td>LED</td> <td>7千円</td> <td>282</td> <td>1,974千円</td> </tr> <tr> <td colspan="4"></td> <td>2,281千円</td> </tr> </tbody> </table> 照明器具の更新 180基 + 今回補正分 102基 = 282基					補助対象経費	補助金額	件数	円		防犯灯の新設	蛍光灯	10千円	3	30千円	LED	14千円	5	70千円	既設電柱の照明器具の新設	蛍光灯	6千円	7	42千円	LED	10千円	15	150千円	照明器具の更新	蛍光灯	3千円	5	15千円	LED	7千円	282	1,974千円					2,281千円	分担金	
補助対象経費	補助金額	件数	円																																									
防犯灯の新設	蛍光灯	10千円	3	30千円																																								
	LED	14千円	5	70千円																																								
既設電柱の照明器具の新設	蛍光灯	6千円	7	42千円																																								
	LED	10千円	15	150千円																																								
照明器具の更新	蛍光灯	3千円	5	15千円																																								
	LED	7千円	282	1,974千円																																								
				2,281千円																																								
事業の成果	防犯灯補助金交付実績(榛原地域分)					使用料																																						
	(単位:基)					国費																																						
	防犯灯補助金交付実績	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25																																				
	防犯灯新設	9	18	16	20	12	6	2																																				
	既設電柱に照明器具の新設	25	30	27	15	5	15	14																																				
	照明器具の更新	54	68	39	28	9	46	207																																				
計	88	116	82	63	26	67	223																																					
* LED化補助については、平成25年度より実施					市債																																							
事業の目標	安全・安心なまちづくりを目指して、夜間の犯罪の防止と通行の安全を図る。また防犯灯のLED化を推進することにより電力消費が抑えられ、省エネとCO ₂ 削減など環境配慮の高揚を図る。 また、LED光にすることにより夜間がより明るくなることにより、犯罪抑止力を高めるとともに、電気料金と蛍光灯交換経費の削減により、自治会経費が削減される。					その他																																						
						一般財源	714																																					
						補正額	714																																					
備考						H26補正前予算額	1,567																																					
						H26現計予算額	2,281																																					
					特定財源の状況																																							

事業区分	継続	事業名	山上公園管理運営事業				
所管課	81	企画課	(企画財政部)		宇陀市予算		
事業の目的	世界的に著名な彫刻家ダニ・カラヴァンが設計監修した風景彫刻公園として、作家の意匠性を考慮し、自然とアートが融合した芸術作品としての適正な維持管理に努める。 世界にも類例の無い当公園を広くPRすることにより集客を図り、地域の活性化等に寄与させる。				区分	No.	区分名
					款	2	総務費
					項	1	総務管理費
					目	12	アートアルカディア推進費
細目	84	山上公園費					
根拠条例等	宇陀市室生山上公園芸術の森条例、同条例施行規則						
総合計画	基本計画 第1章 第5節 公園・緑地の整備						
H26年度事業の概要	施設棟の門扉が鹿により破壊され放置しておくこと公園に大きな被害を与えるため門扉の取替を行う。				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	施設の適切な管理ができる。				使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他		
					一般財源		500
事業の目標	当公園を広くPRすることにより入場者を増やし、地域の活性化を図っていく。				補正額		500
					H26補正前予算額		9,764
					H26現計予算額		10,264
					特定財源の状況		
備考							

事業区分	新規	事業名	過疎集落等自立再生対策事業		
所管課	147	まちづくり支援課 (企画財政部)	宇陀市予算		
事業の目的	室生地区は室生寺の門前町として、かつては年間50万人が訪れる地域であったが、現在では16万人となっており、かつての賑わいがない状況にある。平成25年4月に「室生地区まちづくり協議会」が設立され、室生寺紅葉ライトアップや休耕地にヒマワリを栽培するなど、新たな観光客の確保に取り組んでおり、地域住民の力で活気を取り戻す機運が高まっている。 そこで、地域の特色を生かして、室生地区まちづくり協議会が主体となって行う『「室生の郷」にぎわい創設事業』について、国の助成を受けて支援する。		区分	No.	区分名
			款	2	総務費
			項	1	総務管理費
			目	17	まちづくり支援費
細目	1	まちづくり支援費			
根拠条例等					
総合計画	基本計画 第6章 第1節 市民と行政の協働のまちづくり				
H26年度事業の概要	①新規集客拡大事業 室生寺紅葉ライトアップに合わせて、駐車場から門前までをライトアップすることで、来場者がわくわくするような「もてなしと門前の賑わい」を演出し、さらに集客の拡大を図る。 ②地域の魅力創出事業 地域に伝わる龍神伝説をイメージした新たな取り組み(龍の舞)で、龍穴神社や山上公園など、地域資源を生かした新しい魅力を創出する。 ③地域文化伝承・交流事業 伝統芸能である室生神楽や龍穴太鼓を伝承するため、地域住民はもとより都市住民との交流活動を行う。 ④耕作放棄地解消事業 美しい室生の里の風景を保全するために、耕作放棄地に甘茶(アジサイ科)を栽培し、来訪者にふるまう特産品として活用する。		財源の内訳 (単位:千円)		
			分担金		
事業の成果	室生寺を中心とした地域の賑わいづくりのために住民自らが計画した各事業を実施することで、地域資源を生かした新たな魅力を創り出し、多くの観光客が訪れる賑わいのあるまちづくりに取り組むことができる。		使用料		
			国費	8,500	
			県費		
			市債		
			その他		
			一般財源		
補正額	8,500				
H26補正前予算額					
H26現計予算額	8,500				
事業の目標	過疎集落等において深刻化する喫緊の課題に対応するため、集落機能の維持及び活性化に向けた地域住民の取り組みを支援する。		特定財源の状況		
			過疎集落等自立再生対策事業費補助金 8,500千円		
備考					

事業区分	継続	事業名	宇陀市まちづくり活動応援補助金		
所管課	147	まちづくり支援課 (企画財政部)	宇陀市予算		
事業の目的	市内で活動する団体が行う新たな取り組みに対し、予算の範囲内で補助金を交付することにより、市民による主体的及び地域の個性を生かしたまちづくりを推進し、市の発展に寄与することを目的とする。		区分	No.	区分名
			款	2	総務費
			項	1	総務管理費
			目	17	まちづくり支援費
細目	1	まちづくり支援費			
根拠条例等	宇陀市まちづくり活動応援補助金交付要綱				
総合計画	基本計画 第6章 第3節 地域力の再生				
H26年度事業の概要	審査会及び実績報告会 審査員(4名)謝礼 28千円 通信費 5千円 まちづくり活動応援補助金 500千円×4団体=2,000千円		財源の内訳 (単位:千円)		
			分担金		
事業の成果	○市民活動が持つ特性を活かした市民ニーズに基づいた事業の実施 ○自立した活動ができる団体の育成 補助団体数 平成23年度 10団体 平成24年度 8団体(うち継続2団体) 平成25年度 7団体(うち継続2団体)		使用料		
			国費		
			県費		
			市債		
			その他		
			一般財源	2,033	
補正額	2,033				
H26補正前予算額					
H26現計予算額	2,033				
事業の目標	市民団体等が活動する上での課題である財源の確保の面から、活動を支援することによって市民活動の活性化と団体の自立を図るとともに、市民参加のまちづくりを推進する。		特定財源の状況		
備考					

事業区分	継続	事業名	結婚支援事業			
所管課	147	まちづくり支援課 (企画財政部)		宇陀市予算		
事業の目的	結婚を望む独身の男女に対し、新たな出会いや結婚の機会の創出を支援することにより、未婚化・晩婚化への対策を図るとともに、地域全体で結婚を支援する機運醸成を図る。			区分	No.	区分名
				款	2	総務費
				項	1	総務管理費
				目	17	まちづくり支援費
細目	1	まちづくり支援費				
根拠条例等	宇陀市結婚支援事業実施要綱					
総合計画	序論 第3章 第4節 6. 中心市街地の求心力の回復と若者を中心とした定住化の促進					
H26年度事業の概要	○結婚支援イベント事業委託 150千円×2回=300千円			財源の内訳 (単位:千円)		
	イベントの開催については、市内の団体に委託し、名所旧跡を活用したイベントにより、出会いの場を創出する。 独身市民に新たな出会いの場を創出することで、未婚化・晩婚化対策を図り、地域全体で結婚を支援する機運を高めることを目的としている。			分担金		
事業の成果	独身男女の出会いイベントを市が誘導することにより、地域全体が若者の結婚を支援する機運を高められる。 また、申込者に「奈良出会いセンター」への登録をしてもらうことにより、センターが提供する多くの出会いイベント情報が得られる。 参加者 第1回(平成23年)26名 会場:室生寺、美榛苑 第2回(平成23年)29名 会場:うだアニマルパーク 第3回(平成24年)31名 会場:平成榛原子供の森 第4回(平成25年)28名 会場:奈良カエデの郷ひらら 第5回(平成25年)27名 会場:うだ夢創の里 結婚祝い金交付 2組			使用料		
				国費		
				県費		
				市債		
				その他		
一般財源	300					
補正額	300					
H26補正前予算額						
H26現計予算額	300					
事業の目標	イベントの開催による結婚促進へのPRを行い、市に定住する夫婦を増やす。 また、婚活事業に取り組む事業者の育成につなげる。			特定財源の状況		
備考						

事業区分	継続	事業名	地域・NPO支援講座開催事業			
所管課	147	まちづくり支援課 (企画財政部)	宇陀市予算			
事業の目的	高齢者・障害者福祉・子育て支援・買い物弱者支援など社会や地域の様々な課題をビジネスの手法で解決するソーシャルビジネス(SB)やコミュニティビジネス(CB)に対する注目が集まっている。 このような状況の中で、事業に取り組む人材の育成や支援者の育成などを目的とした講座を2回開催する。			区分	No.	区分名
				款	2	総務費
				項	1	総務管理費
				目	17	まちづくり支援費
細目	1	まちづくり支援費				
根拠条例等						
総合計画	基本計画 第6章 第3節 地域力の再生					
H26年度事業の概要	講師謝礼 120千円 旅費 10千円 需用費 2千円 通信費 4千円			財源の内訳 (単位:千円)		
				分担金		
事業の成果	当講座の受講者がコミュニティビジネスに向かうきっかけとなり、産業の振興やコミュニティ活動が充実してくることが期待される。 平成25年度受講者 50名(計2回開催)			使用料		
				国費		
				県費		
				市債		
				その他		
				一般財源	136	
補正額	136					
H26補正前予算額						
H26現計予算額	136					
事業の目標	多くの地域、NPOは、ヒト、モノ、カネ不足に悩まされており、この講座の実施によりノウハウを習得し、活動資金の確保や人材の育成、支援者の育成などに繋げる。			特定財源の状況		
備考						

事業区分	継続	事業名	まちづくり協議会支援事業		
所管課	147	まちづくり支援課 (企画財政部)	宇陀市予算		
事業の目的	まちづくり協議会の活動を支援するために活動支援補助を行う。		区分	No.	区分名
			款	2	総務費
			項	1	総務管理費
			目	17	まちづくり支援費
			細目	1	まちづくり支援費
根拠条例等	宇陀市いきいき地域づくり補助金交付要綱				
総合計画	基本計画 第6章 第1節 市民と行政の協働のまちづくり				
H26年度事業の概要	いきいき地域づくり補助金(活動支援補助金) 300千円×3団体分=900千円 平成26年度当初予算から本補助金制度を設け、当初予算では10団体分を計上しているが、今回3団体分を追加し、現在設立している13団体に対して補助を行う。		財源の内訳 (単位:千円)		
			分担金		
事業の成果	市民主体のまちづくり組織を形成することにより、自らが考え行動する気運を盛り上げるとともに、地域の実情に応じた課題解決を行うことができる組織を築く。 地域課題解決のための独自の事業について本補助金を活用する。 対象事業: 市外住民との交流事業 コミュニティビジネス事業 高齢者生きがいづくり事業 多世代交流事業 子ども支援事業		使用料		
			国費		
			県費		
			市債		
			その他		
			一般財源		900
			補正額		900
H26補正前予算額		13,191			
H26現計予算額		14,091			
事業の目標	地域課題の解決に向けたまちづくり協議会の活動を支援するとともに、地域の元気を創出する組織へと成長を促す。		特定財源の状況		
備考					

事業区分	新規	事業名	社会保障・税番号制度導入業務委託料				
所管課	81	企画課	(企画財政部)		宇陀市予算		
事業の目的	平成25年5月に「行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」(番号法)が制定された。この番号制度とは、住民票を有する全員に個人番号が付番され、法人などには法人番号が付番され、その付番された番号をもとに複数の機関間において同一人の情報を紐付けて相互に情報連携を行うものである。この制度が導入されること、特定の個人及び法人に関する正確な情報が迅速に得られることから、行政事務の効率化が図られ、社会保障・税分野の情報共有により交付と負担の公平化が望め、より公平・公正な社会を実現することができる。				区分	No.	区分名
					款	2	総務費
					項	1	総務管理費
					目	18	社会保障・税番号制度導入費
細目	1	社会保障・税番号制度導入費					
根拠条例等	行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律						
総合計画							
H26年度事業の概要	番号制度を導入すべき事務への対応 個人番号を利用すべき事務の洗出し、情報連携を行うべき事務の洗出し及び特定個人情報評価の対応 社会保障・税番号制度導入業務委託 2,376千円				財源の内訳 (単位:千円)		
	事業の成果	市民が申請、届出等の行政手続きを行うに際して所得証明書等の添付書類が不要になる等、手続きの簡素化による市民の負担の軽減が図られる。また、本人確認の簡便化、その他の利便性の向上が期待される。 さらに、制度導入が総合窓口(ワンストップサービス)の設置に繋がり、効率よく事務処理が出来るようになる。				分担金	
使用料							
国費							
県費							
市債							
その他							
一般財源	2,376						
補正額	2,376						
H26補正前予算額							
H26現計予算額	2,376						
事業の目標	社会保障・税番号制度導入における市民目線に立った宇陀市システムの構築を図る。 さらに、特定個人情報取扱いにおいて安全措置の充実を図る。				特定財源の状況		
備考							

事業区分	新規	事業名	臨時福祉給付金支給事業				
所管課	127	介護福祉課	(健康福祉部)		宇陀市予算		
事業の目的	平成26年4月から消費税率が8%へ引き上げられたことに伴い、一定の所得以下の方々への負担を緩和するため、暫定的・臨時的な措置として臨時福祉給付金を支給する。				区分	No.	区分名
					款	3	民生費
					項	1	社会福祉費
					目	1	社会福祉総務費
					細目	2	臨時福祉給付金支給事業費
根拠条例等	宇陀市臨時福祉給付金支給事業実施要綱						
総合計画							
H26年度事業の概要	平成26年度予算概要				財源の内訳 (単位:千円)		
	事業費	76,000千円	賃金	750千円	分担金		
	旅費	10千円	需用費	270千円	使用料		
	役務費	2,415千円	委託料	6,858千円	国費		86,893
	合計 86,303千円				県費		
事業の成果	◇国が実施する『社会保障と税の一体改革』に基づき、平成26年4月から消費税率が8%に引き上げられたことによる、消費の反動減を緩和して景気の下振れリスクに対応するとともに、その後の経済成長力の底上げと好循環の実現をはかり、持続的な経済成長につなげるため「臨時福祉給付金」を支給するもの。				市債		
					その他		
					一般財源		▲ 590
					補正額		86,303
				H26補正前予算額			
				H26現計予算額		86,303	
事業の目標	◇消費税引上げ分については、安心の支え合いである社会保障制度を守り、進化させ、受け継いでいくため、時代の要請に合った社会保障制度へと充実・安定化するために充てられるものであり、今後の社会保障制度に期待される。				特定財源の状況		
					臨時福祉給付金給付事業費補助金 76,000千円 臨時福祉給付金給付事務費補助金 10,893千円		
備考	◇一般財源 ▲590千円の内訳 3-1-1-1(本庁社会福祉総務費)職員手当等 ▲476千円 2-1-1-1(本庁一般管理費) 共済費 ▲114千円						

事業区分	新規	事業名	宇陀市障害者基本計画及び障害福祉計画策定事業				
所管課	127	介護福祉課	(健康福祉部)		宇陀市予算		
事業の目的	平成18年度から策定されていた宇陀市障害者基本計画及び平成24年度から策定されていた第3期宇陀市障害福祉計画が平成26年度で終了することから、新たな計画を策定する必要があるため、ニーズ調査や策定委員会の開催等必要な事業を行う。				区分	No.	区分名
					款	3	民生費
					項	1	社会福祉費
					目	2	障害者福祉費
					細目	1	本庁障害者福祉費
根拠条例等	障害者基本法・障害者総合支援法・宇陀市障害福祉計画及び障害者基本計画策定委員会設置要綱						
総合計画	基本計画 第2章 第4節 障がいのある人がいきいきと暮らせるまち						
H26年度事業の概要	平成26年度予算概要 報償費 165千円 需用費 50千円 役務費 598千円 委託料 4,180千円 合計 4,993千円				財源の内訳 (単位:千円)		
	宇陀市障害者基本計画 障害者基本法の規定に基づき、市町村において障害者の状況を踏まえ基本的な計画を策定しなければならず、策定することによって、障害者の自立及び社会参加の支援等のための施策を総合的かつ計画的に推進し、もって障害者の福祉を促進することを目的とする。 第4期宇陀市障害福祉計画 障害者総合支援法の規定に基づき、障害福祉サービス等の提供体制及び自立支援給付等の円滑な実施を確保することを目的として、作成されるもので、障害者の地域生活を支援するためのサービス基盤整備等に係る平成29年度末の数値目標を設定するとともに、障害福祉サービス及び相談支援並びに市町村及び都道府県の地域生活支援事業を提供するための体制の確保が計画的に図られるようにすることを目的とする。				分担金		
使用料							
国費							
県費							
市債							
その他							
事業の成果					一般財源	4,993	
					補正額	4,993	
					H26補正前予算額		
					H26現計予算額	4,993	
事業の目標	障害者基本計画を策定することにより、障害者の自立及び社会参加の支援等のための施策を総合的かつ計画的に推進し、もって障害者の福祉を促進することを目標とする。また、障害福祉計画を策定することによって、障害福祉サービス及び相談支援並びに市町村及び都道府県の地域生活支援事業を提供するための体制の確保が計画的に図られることを目標とする。				特定財源の状況		
備考							

事業区分	継続	事業名	宇陀市公的介護施設等施設整備推進補助金事業				
所管課	127	介護福祉課	(健康福祉部)		宇陀市予算		
事業の目的	小規模多機能型居宅介護施設を新設することにより、在宅での生活継続を支援する。また、生活支援ハウスにスプリンクラーを設置し、災害時の安全対策に努める。				区分	No.	区分名
					款	3	民生費
					項	1	社会福祉費
					目	3	老人福祉費
細目	1	本庁老人福祉費					
根拠条例等	宇陀市公的介護施設等施設整備推進補助金交付要綱						
総合計画	基本計画 第2章 第3節 高齢者が安心して暮らせるまち						
H26年度事業の概要	県より介護基盤緊急整備等臨時特例交付金を受け、宇陀市公的介護施設等施設整備推進補助金として支給。 ①小規模多機能型居宅介護施設整備 補助金額 35,265,000円 ②生活支援ハウスへのスプリンクラー設置 補助金額 4,320,000円 合計(①+②) 39,585,000円				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	平成26年4月に基準改定があり、当初小規模多機能型居宅介護施設整備補助金額として41,812,000円を予算措置していたが、35,265,000円に減額となった。これにより△6,547,000円 また、同じく基準改定により、新たに生活支援ハウスへのスプリンクラー設置が義務づけられ、悠楽園に設置するための補助金4,320,000円が必要となったことにより、補正予算として、35,265,000円-41,812,000円+4,320,000円=△2,227,000円となる。				使用料		
					国費		
					県費	▲ 2,227	
					市債		
					その他		
	一般財源						
	補正額	▲ 2,227					
	H26補正前予算額	41,812					
	H26現計予算額	39,585					
事業の目標	小規模多機能型居宅介護施設を整備することにより、「通い」を中心として、居宅介護者の心身の状況や、おかれている環境また希望に応じて、随時「訪問」や「泊まり」を組み合わせたサービスを提供することを目的としている。 また、生活支援ハウスへのスプリンクラーの設置については、災害時の利用者の安全を確保することを目的としている。				特定財源の状況		
					介護基盤緊急整備等臨時特例交付金 ▲2,227千円		
備考							

事業区分	継続	事業名	旧大宇陀町隣保館売却による施設整備事業													
所管課	102	人権推進課	(市民環境部)		宇陀市予算											
事業の目的	大宇陀人権交流センターの建設により、旧大宇陀町隣保館での社会福祉法に基づく隣保館事業施設としての役割が終了となったため、売却を行うことに伴う施設整備及び国庫補助金の返還をする。				区分	No.	区分名									
					款	3	民生費									
					項	1	社会福祉費									
					目	8	人権交流センター費									
					細目	20	大宇陀地域事務所人権交流センター費									
根拠条例等																
総合計画	基本計画 第6章 第4節 行財政改革の推進															
H26年度事業の概要	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">(単位:千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>需用費</td> <td>270</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>償還金利子および割引料</td> <td>1,200</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,520</td> </tr> </tbody> </table>				(単位:千円)		需用費	270	役務費	50	償還金利子および割引料	1,200	合計	1,520	財源の内訳 (単位:千円)	
					(単位:千円)											
需用費	270															
役務費	50															
償還金利子および割引料	1,200															
合計	1,520															
事業の成果	旧大宇陀町隣保館の売却がスムーズに実施できる。				分担金											
					使用料											
					国費											
					県費											
					市債											
その他																
一般財源	1,520															
補正額	1,520															
H26補正前予算額																
H26現計予算額	1,520															
事業の目標					特定財源の状況											
備考																

平成 26 年度 宇陀市 一般会計

補正予算 [第 1 号] 事業別シート

事業区分	継続	事業名	菟田野人権交流センター改修事業			
所管課	102	人権推進課	(市民環境部)			
事業の目的 宇陀市あらゆる差別の撤廃・人権擁護に関する審議会において、平成23年11月に人権交流センターの今後の在り方についての答申に基づき、将来的に交流センターを1ヶ所に統合する方向である。また、統合については、菟田野人権交流センターを拠点として位置づけ建物を改修する。平成25年度は、耐震診断・判定業務、平成26年度においては耐震補強設計及び大規模改修実施設計書の作成、平成27年度は耐震補強大規模改修工事の実施予定とする予定である。			宇陀市予算			
			区分	No.	区分名	
			款	3	民生費	
			項	1	社会福祉費	
			目	8	人権交流センター費	
細目	41	菟田野人権交流センター改修事業費				
根拠条例等	宇陀市人権交流センター等設置及び運営に関する条例					
総合計画	基本計画 第6章 第4節 行財政改革の推進					
H26年度事業の概要	菟田野人権交流センター大規模改修事業予算概要 (千円)			財源の内訳 (単位:千円)		
	耐震補強・大規模改修実施設計業務委託費	15,702		分担金		
	耐震補強設計診断判定手数料	600		使用料		
	合 計	16,302		国 費		
事業の成果				県 費		
				市 債	15,400	
				その他		
				一般財源	902	
				補正額	16,302	
			H26補正前予算額			
			H26現計予算額	16,302		
事業の目標	平成28年度に宇陀市内の人権交流センターの統合(一元化)を行うこととする。			特定財源の状況		
				合併特例債	15,400千円	
備考						

事業区分	新規	事業名	子育て世帯臨時特例給付金給付事業				
所管課	126	子ども支援課	(健康福祉部)		宇陀市予算		
事業の目的	消費税の引上げに際し、子育て世帯への影響を緩和するとともに、子育て世帯の消費の下支えをはかる観点から、臨時的な給付措置として実施。単年度事業。 ※但し、非課税世帯は臨時福祉給付金の対象、生活保護世帯はともに対象外。				区分	No.	区分名
					款	3	民生費
					項	2	児童福祉費
					目	1	児童福祉総務費
					細目	2	子育て世帯臨時特例給付金事業費
根拠条例等	好循環実現のための経済対策(H25.12.5付閣議決定)						
総合計画							
H26年度事業の概要	・給付金 H26.1.1付0歳～中学生児童1人当たり10,000円 1月分児童手当対象児童約2800人×0.8(課税世帯率)×1.1(公務員上乗せ)×10,000円=24,640,000円 ・事務費 システム導入等日立システムズに委託 4,367千円 臨時職員賃金 484千円 共済費 71千円 職員手当 540千円、普通旅費 10千円 需用費 消耗品、チラシ・封筒等印刷製本 220千円 郵送料 申請書送付、申請書返送、結果通知等 424千円 口座振込・振込不能分組戻等手数料 182千円				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果					使用料		
					国費	30,938	
					県費		
					市債		
					その他		
					一般財源	▲ 611	
				補正額	30,327		
				H26補正前予算額			
				H26現計予算額	30,327		
事業の目標	全対象者に交付できるように、該当者に申請書を送付する。また、ホームページや広報誌等でもPRし、申請を促し早期の給付措置を実施する。				特定財源の状況		
					子育て世帯臨時特例給付金給付事業費補助金 24,640千円 子育て世帯臨時特例給付金給付事務費補助金 6,298千円		
備考	一般財源▲611千円の内訳 3-2-1-1(本庁児童福祉総務費) 職員手当等 ▲540千円 2-1-1-1(本庁一般管理費) 共済費 ▲71千円						

事業区分	継続	事業名	精神保健事業				
所管課	123	健康増進課	(健康福祉部)		宇陀市予算		
事業の目的	精神疾患に対する理解を深め、精神障害者及び家族を支援するために実施する。				区分	No.	区分名
					款	4	衛生費
					項	1	保健衛生費
					目	4	健康づくり費
					細目	5	保健センター健康づくり費
根拠条例等	障害者自立支援法						
総合計画	基本計画 第2章 第1節 健康づくりの推進						
H26年度事業の概要	【こころの健康づくり学習会】 平成27年3月開催 配布用啓発物品 27,000円				財源の内訳 (単位:千円)		
	【ゲートキーパー養成事業】 養成講座年1回開催 配布物(手帳) 64,000円				分担金		
事業の成果	【実務担当者学習会】 年2回開催 実務担当者学習会講師代 60,000円				使用料		
	以上の自殺対策緊急対策事業予算を増額する。				国費		
	自殺の要因として一番多いこころの病や悩みについて、早期発見・早期治療につなげる為に学ぶ機会を設け、尚且つ相談できる場を提供する。また、悩みを抱えている人に気づき、話を聞いて見守れる役目ができる人材を養成する。				県費		151
					市債		
					その他		
					一般財源		
					補正額		151
H26補正前予算額		297					
H26現計予算額		448					
事業の目標	こころの病気についての知識や予防法を広く啓発していく。				特定財源の状況		
備考					奈良県自殺対策緊急強化補助金 151千円		

事業区分	新規	事業名	ウェルネス運動事業調査費				
所管課	123	健康増進課	(健康福祉部)		宇陀市予算		
事業の目的	ウェルネスシティ推進のために、運動習慣を持つ人を増やすことが必要。そのために、27年度からの運動事業開始を検討するため、先駆的に実施している他市の状況を視察する。				区分 No.	区分名	
					款	4	衛生費
					項	1	保健衛生費
					目	4	健康づくり費
細目	82	ウェルネスシティ推進費					
根拠条例等	健康増進法						
総合計画	基本計画 第2章 第1節 健康づくりの推進						
H26年度事業の概要	ウェルネスシティ構想の中で、「市民総参加で取り組む健康づくり」を基本的な考え方としている。 小規模な事業を見直し、1,000人が参加できる運動拠点を作るため、庁内関係課で検討会議を持つ。また、Smart Wellness City 首長研究会に随伴、研修し、先駆的に実施している他市の状況(新潟市・富山市等)を視察する。 旅費・宿泊費 208千円 研修参加負担金 4千円				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	Smart Wellness City を先駆的に実施している他市の状況を学び、本市のウェルネスシティ推進の参考とする。				使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他		
一般財源	212						
補正額	212						
H26補正前予算額							
H26現計予算額	212						
事業の目標	大きく効果があがる運動事業のあり方を模索し、事業化につなげる。				特定財源の状況		
備考							

事業区分	継続	事業名	簡易水道事業繰出金				
所管課	103	環境対策課	(市民環境部)		宇陀市予算		
事業の目的	水道法の規定に基づき、宇陀市においても水道事業を実施。給水人口12,672人(平成26年3月末)の加入者に対して安心・安全・安定した飲料水の供給をめざし、経営基盤の強化を図りながら、水道施設の管理・運営を行うため一般会計から繰り出しを行う。				区分	No.	区分名
					款	4	衛生費
					項	1	保健衛生費
					目	5	簡易水道費
					細目	1	簡易水道費
根拠条例等	宇陀市簡易水道事業の設置等に関する条例、宇陀市簡易水道事業給水条例						
総合計画	基本計画 第3章 第4節 上下水道の整備						
H26年度事業の概要	簡易水道事業繰出金2,066千円の増額				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	今後とも安心・安全・安定した飲料水の供給を行う。				使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他		
一般財源		2,066					
補正額		2,066					
H26補正前予算額		290,885					
H26現計予算額		292,951					
事業の目標					特定財源の状況		
備考	簡易水道事業においては、経費の削減を図り、一般会計からの繰入金金の減少に努める。						

事業区分	新規	事業名	火葬場整備事業補助金				
所管課	103	環境対策課	(市民環境部)		宇陀市予算		
事業の目的	自治会管理の火葬場について、その撤去すべき施設及び設備の解体撤去を円滑に進める。				区分	No.	区分名
					款	4	衛生費
					項	1	保健衛生費
					目	6	火葬場運営費
					細目	1	火葬場運営費
根拠条例等	宇陀市火葬場解体撤去事業補助金交付要綱						
総合計画	基本計画 第1章 第2節 生活環境の整備						
H26年度事業の概要	自治会管理火葬場の設備及び施設の解体撤去費用の補助(1/2)を行う。 負担金、補助及び交付金……1,000千円				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	火葬場を管理する自治会が、その管理する火葬場の解体及び撤去を行う場合の費用負担を軽減することができ、円滑に老朽施設の除去が図れる。				使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他		
					一般財源	1,000	
補正額	1,000						
H26補正前予算額							
H26現計予算額	1,000						
事業の目標	老朽化した火葬場施設及び設備の除去を推進する。				特定財源の状況		
備考							

事業区分	新規	事業名	下水道事業会計操出金				
所管課	103	環境対策課	(市民環境部)		宇陀市予算		
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ●使用料滞納額の削減 ●雨天時に汚水量が増加することについて、宅内の雨水排水が污水管へ誤接続されていないか等を調査する。 				区分	No.	区分名
					款	4	衛生費
					項	1	保健衛生費
					目	11	下水道費
細目	1	下水道費					
根拠条例等							
総合計画	基本計画 第3章 第4節 上下水道の整備						
H26年度事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ●使用料滞納金の徴収外部委託に伴う、上水道会計への委託料の増額 3,066千円 ●雨天時に汚水量増加が著しい天満台地区について調査を委託する。 1,000千円 ●公共下水道建設費について起債充当による財源振替分 △1,400千円 				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ●増加する使用料の滞納繰越額を抑え、さらに減少に導く ●誤接続宅地の発見 				使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他		
					一般財源	2,666	
補正額	2,666						
H26補正前予算額	365,469						
H26現計予算額	368,135						
事業の目標	<ul style="list-style-type: none"> ●使用料滞納額の減少 ●誤接続の解消により処理場へ流入する水量の減量 				特定財源の状況		
備考							

事業区分	新規	事業名	一般廃棄物処理事業				
所管課	103	環境対策課	(市民環境部)		宇陀市予算		
事業の目的	廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、廃棄物を適正に処理し、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図る。				区分	No.	区分名
					款	4	衛生費
					項	2	清掃費
					目	2	じん芥処理費
					細目	3	本庁じん芥処理費
根拠条例等	宇陀市廃棄物の処理及び清掃に関する条例						
総合計画	基本計画 第1章 第3節 循環型社会の構築						
H26年度事業の概要	東宇陀クリーンセンター機能検査及び可燃ごみ処理施設広域化の検討資料を作成。 委託料・・・・・・2,920千円				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	施設の実績をもとに、ごみ量、灰量、ごみ質、灰質等を調査し、処理負荷並びに処理程度を検証し、あわせて施設の損傷状況を検査することにより、適正な運営指針を得る。				使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他		
一般財源	2,920						
補正額	2,920						
H26補正前予算額							
H26現計予算額	2,920						
事業の目標	宇陀市における可燃物処理の今後の処理計画を検討するための基礎的な資料を作成する。				特定財源の状況		
備考							

事業区分	新規	事業名	機構集積支援事業					
所管課	841	農業委員会	(農林商工部農林課内)					
事業の目的	農地基本台帳の整備を図る。				宇陀市予算			
					区分	No.	区分名	
					款	5	農林水産業費	
					項	1	農業費	
					目	1	農業委員会費	
細目	1	農業委員会費						
根拠条例等	農地法第52条の2及び3、農地集積・集約化対策事業実施要綱							
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業の活性化							
H26年度事業の概要	農業委員会が行う農地の利用状況調査結果や農地の移動等を農地基本台帳に入力する。				財源の内訳 (単位:千円)			
					分担金			
事業の成果	平成27年度から農地基本台帳の公表が義務付けられており、農地基本台帳を整備し、農地の集積・集約化を図る。				使用料			
					国費			
					県費	898		
					市債			
					その他			
					一般財源			
					補正額	898		
H26補正前予算額								
H26現計予算額	898							
事業の目標	農家台帳システムに利用状況調査結果及び平成25年中の農地の異動等の入力を終える。				特定財源の状況			
					農地集積・集約化対策事業費補助金 898千円			
備考								

事業区分	新規	事業名	特産品・名産品等PR事業					
所管課	141	産業企画課	(農林商工部)					
事業の目的	市内の特産品・名産品等を県外において広くPRし、販路拡大及び宇陀市の知名度の向上を図る。				宇陀市予算			
					区分	No.	区分名	
					款	5	農林水産業費	
					項	1	農業費	
					目	8	産業企画費	
細目	1	産業企画費						
根拠条例等								
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業の活性化							
H26年度事業の概要	予算概要 講師謝礼:120,000円 旅費:32,000円 需用費:151,000円 通信運搬費:8,000円 使用料及び賃借料:92,000円				財源の内訳 (単位:千円)			
	大阪等の人が集まる場所において、市内の特産品・名産品・観光情報やイベント情報のPR、ものづくり体験等を通して、インターネット販売の促進、販路拡大及び宇陀市の知名度の向上を図り、より多くの方々に宇陀市を訪れていただき、地域所得の向上、産業の活性化を図る。				分担金			
使用料								
国費								
県費								
市債								
その他								
事業の成果					一般財源	403		
					補正額	403		
					H26現計 前予算額			
事業の目標	特産品の生産の促進、新たなブランド品・加工品等の促進につなげていく。				特定財源の状況			
備考								

事業区分	新規	事業名	道の駅「宇陀路大宇陀」「宇陀路室生」指定管理選定委員報酬				
所管課	146	商工観光課	(農林商工部)		宇陀市予算		
事業の目的	指定管理者の選定について、その過程および手続の透明性・公正性の確保を図る。				区分	No.	区分名
					款	6	商工費
					項	1	商工費
					目	1	商工振興費
細目	1	本庁商工振興費					
根拠条例等							
総合計画	基本計画 第5章 第2節 商工業の活性化						
H26年度事業の概要	予算概要 道の駅指定管理選定委員報酬 1次審査選定委員会委員長 7,800円×0.5日×1名×2ヶ所=7,800円 1次震災選定委員会委員 6,800円×0.5日×4名×2ヶ所=27,200円 2次審査選定委員会委員長 7,800円×1日×1名×2ヶ所=15,600円 2次審査選定委員会委員 6,800円×1日×4名×2ヶ所=54,400円				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	指定管理者候補者選定手続きの公平性、公正性を担保する。				使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他		
一般財源	105						
補正額	105						
H26補正前予算額							
H26現計予算額	105						
事業の目標	指定管理者候補者の選定について、その過程および手続の透明性・公正性の確保を図る。				特定財源の状況		
備考							

事業区分	継続	事業名	ウェルネスシティ健康づくり推進事業				
所管課	146	商工観光課	(農林商工部)		宇陀市予算		
事業の目的	還暦軟式野球大会を誘致することで、宇陀市住民の健康意識の高まりと、宇陀市を全国PR、選手及び家族友人の来訪による市内消費につなげる。また、市内観光ポイントを掲載したマップの利用によるハイキングや軽登山等を通して、市民の健康の増進を図る。				区分	No.	区分名
					款	6	商工費
					項	1	商工費
					目	2	観光費
細目	10	ウェルネスシティ推進費					
根拠条例等							
総合計画	基本計画 第2章 第1節 健康づくりの推進						
H26年度事業の概要	予算概要 ・還暦野球大会 消耗品費 182,900円 (内訳)看板材料等 40,000円 ラインパウダー等 30,000円 賞状他事務用品 30,000円 参加者スポーツドリンク 72,900円 救急薬品類(2セット) 10,000円 ・ハイキングマップ 印刷製本費 A5冊子 40ページ 10コース程度 85円×10,000部×1.08＝ 918,000円				財源の内訳 (単位:千円)		
	・還暦軟式野球大会の参加者により、市内宿泊施設の利用及び購買、弁当店その他観光ポイントでの購買が期待できる。また遠方より来訪される選手に観光パンフレットを配布するなど観光PRが進む。 ・ハイキング、軽登山等を推進することにより、健康を更に増進し、地域の人々のつながりや市外からも訪れてみたいくなるようなまちづくりが期待できる。				分担金		
事業の成果					使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
				その他			
				一般財源	1,101		
				補正額	1,101		
				H26補正前予算額			
				H26現計予算額	1,101		
事業の目標	還暦軟式野球大会により、住民の健康意識の高まりと、観光PR、市内消費を図る。また、ハイキング、軽登山を通して、健康の増進、観光ポイントの再認識を目指す。				特定財源の状況		
備考							

事業区分	新規	事業名	市道登記業務					
所管課	181	建設課	(建設部)					
事業の目的	市道の未登記部を解消し、保全を図る。				宇陀市予算			
					区分	No.	区分名	
					款	7	土木費	
					項	1	土木管理費	
					目	1	土木総務費	
細目	1	本庁土木総務費						
根拠条例等	「道路法42条」(道路の維持又は修繕)							
総合計画	基本計画 第3章 第2節 道路交通網の整備							
H26年度事業の概要	市道3路線の未登記部の分筆登記、所有権移転登記 委託料 800千円				財源の内訳 (単位:千円)			
					分担金			
事業の成果	市道の未登記部を解消し、保全を図る。				使用料			
					国費			
					県費			
					市債			
					その他			
					一般財源	220		
補正額	220							
H26補正前予算額	580							
H26現計予算額	800							
事業の目標	市道の未登記部を解消し、保全を図る。				特定財源の状況			
備考								

事業区分	継続	事業名	社会資本整備総合交付金事業 道路ストック総点検事業				
所管課	181	建設課	(建設部)				
事業の目的	市道橋梁の点検を行い、道路の安全性及び長寿命化を図る。			宇陀市予算			
				区分	No.	区分名	
				款	7	土木費	
				項	2	道路橋梁費	
				目	2	道路維持費	
細目	1	道路維持費					
根拠条例等	「道路法42条」(道路の維持又は修繕)						
総合計画	基本計画 第3章 第2節 道路交通網の整備						
H26年度事業の概要	道路ストック総点検事業 市内橋梁数553橋			財源の内訳 (単位:千円)			
	H26年度	橋梁点検(L=15m以下)30基	10,050千円	分担金			
事業の成果		橋梁点検(第三者被害) 3基	16,050千円	使用料			
		事務費	683千円	国費	7,300		
		合計	26,783千円	県費			
				市債			
				その他			
				一般財源	2,750		
				補正額	10,050		
			H26補正前予算額	16,733			
			H26現計予算額	26,783			
事業の目標	道路の安全性の確保及び橋梁の長寿命化を図る。			特定財源の状況			
				社会資本整備総合交付金事業 7,300千円			
備考							

事業区分	新規	事業名	地域環境対策支援事業 市道椿谷線					
所管課	181	建設課	(建設部)					
事業の目的	当路線は、地域の重要な生活道路ではあるが、経年変化により、路面が老朽化し、通行に支障を来しているため、舗装を修繕し、安全性及び利便性の向上を図る。				宇陀市予算			
					区分	No.	区分名	
					款	7	土木費	
					項	2	道路橋梁費	
					目	2	道路維持費	
細目	1	道路維持費						
根拠条例等	「道路法42条」(道路の維持又は修繕)							
総合計画	基本計画 第3章 第2節 道路交通網の整備							
H26年度事業の概要	地域環境対策支援事業 市道椿谷線 舗装修繕工事 L=200m W=5m アスファルト舗装、側溝修繕			測量試験費 500千円 工事費 7,500千円 合計 8,000千円				
				財源の内訳 (単位:千円)				
事業の成果	道路利用者の安全性の確保及び利便性の向上が図られる。			分担金				
				使用料				
				国費				
				県費	4,000			
				市債	4,000			
その他								
事業の目標	道路利用者の安全性の確保及び利便性の向上が図られる。			一般財源				
				補正額	8,000			
				H26現計予算額	8,000			
事業の目標	道路利用者の安全性の確保及び利便性の向上が図られる。			特定財源の状況				
				奈良県地域環境対策支援事業補助 4,000千円 辺地対策事業債 4,000千円				
備考								

事業区分	新規	事業名	市道改良工事 市道深野峠青葉線					
所管課	181	建設課	(建設部)					
事業の目的	当路線は、地域の重要な生活道路であるが、経年変化により、路面の老朽化が進み、通行に支障を来しているため、舗装修繕を行い安全性、及び利便性の向上を図る。				宇陀市予算			
					区分	No.	区分名	
					款	7	土木費	
					項	2	道路橋梁費	
					目	2	道路維持費	
細目	1	道路維持費						
根拠条例等	「道路法42条」(道路の維持又は修繕)							
総合計画	基本計画 第3章 第2節 道路交通網の整備							
H26年度事業の概要	市道深野峠青葉線 舗装修繕工事 全体延長L=800m 延長L=200m 幅員W=5m アスファルト舗装、側溝修繕				財源の内訳 (単位:千円)			
					分担金			
事業の成果	道路利用者の安全性の確保及び利便性の向上が図られる。				使用料			
					国費			
					県費			
					市債	4,500		
					その他			
					一般財源			
					補正額	4,500		
H26補正前予算額								
H26現計予算額	4,500							
事業の目標	道路利用者の安全性、利便性の向上及び地域の活性化を図る。				特定財源の状況			
					辺地対策事業債	4,500千円		
備考								

事業区分	継続	事業名	道路維持事業 道路舗装等維持補修工事			
所管課	181	建設課	(建設部)			
			宇陀市予算			
事業の目的	宇陀市道1,687路線、総延長約747kmのうち、特に生活と密着した道路の維持補修を行い、道路利用者の安全性、利便性の向上を図る。			区分	No.	区分名
				款	7	土木費
				項	2	道路橋梁費
				目	2	道路維持費
細目	1	道路維持費				
根拠条例等	「道路法42条」(道路の維持又は修繕)					
総合計画	基本計画 第3章 第2節 道路交通網の整備					
H26年度事業の概要	市道の安全性、利便性を図るため、維持補修を行う。 道路舗装維持補修 変更前 道路舗装維持補修工事 40,000千円 交通安全施設整備工事 5,200千円 街路灯修繕工事 1,500千円 機械使用料 300千円 合計 47,000千円 変更後 道路舗装維持補修工事 48,000千円 交通安全施設整備工事 5,200千円 街路灯修繕工事 1,500千円 機械使用料 500千円 合計 55,200千円			財源の内訳 (単位:千円)		
				分担金		
事業の成果	道路利用者の安全性の確保及び利便性の向上が図られる。			使用料		
				国費		
				県費		
				市債		
				その他		
一般財源	8,200					
補正額	8,200					
H26補正前予算額	47,000					
H26現計予算額	55,200					
事業の目標	道路利用者の安全性の確保及び利便性の向上が図られる。			特定財源の状況		
備考						

事業区分	新規	事業名	社会資本整備総合交付金事業 交通安全施設整備					
所管課	181	建設課	(建設部)					
事業の目的	通学路の安全点検に基づき、危険箇所の改善を行い、通学路における児童、生徒の安全を確保する。				宇陀市予算			
					区分	No.	区分名	
					款	7	土木費	
					項	2	道路橋梁費	
					目	2	道路維持費	
細目	3	交通安全施設整備費						
根拠条例等	「道路法42条」(道路の維持又は修繕)							
総合計画	基本計画 第3章 第2節 道路交通網の整備							
H26年度事業の概要	交通安全施設整備 ガードレール、ガードパイプ 路面標示、カーブミラー他 工事費 3,100千円 合計 3,100千円			財源の内訳 (単位:千円)				
				分担金				
事業の成果	交通安全施設の整備により、危険箇所を改善し、通学路における児童、生徒の安全を確保する。			使用料				
				国費		1,950		
				県費				
				市債				
				その他				
				一般財源		1,150		
事業の目標	交通安全施設の整備により、危険箇所を改善し、通学路における児童、生徒の安全を確保する。			補正額		3,100		
				H26補正前予算額				
				H26現計予算額		3,100		
事業の目標	交通安全施設の整備により、危険箇所を改善し、通学路における児童、生徒の安全を確保する。			特定財源の状況				
				社会資本整備総合交付金事業 1,950千円				
備考								

事業区分	継続	事業名	社会資本整備総合交付金事業 市道平井比布線			
所管課	181	建設課	(建設部)			
			宇陀市予算			
事業の目的	当路線は、県道榛原菟田野御杖線と、県道内牧菟田野線を結び、市の東西を横断する重要な役割を果たしているが、老朽化や車両の大型化により、走行性等に支障を来しているため、舗装修繕を行い利用者の安全性、利便性を図る。			区分	No.	区分名
				款	7	土木費
				項	2	道路橋梁費
				目	3	道路新設改良費
細目	11	社会資本整備総合交付金事業(平井比布線)				
根拠条例等	「道路法42条」(道路の維持又は修繕)					
総合計画	基本計画 第3章 第2節 道路交通網の整備					
H26年度事業の概要	「社会資本整備総合交付金事業(国土交通省)」 全体計画 H23~H28年度 全体事業費 105,000千円 全体延長 L=2,000m 幅員 W=6m H26年度事業 L=300m 舗装修繕			財源の内訳 (単位:千円)		
				分担金		
事業の成果	当路線は、市の東西を結ぶ主要動線であり、安全性及び利便性が向上し地域の活性化を図る。			使用料		
				国費	11,700	
				県費		
				市債	6,500	
				その他		
				一般財源	333	
				補正額	18,533	
H26補正前予算額	407					
H26現計予算額	18,940					
事業の目標	道路利用者の安全性、利便性の向上及び地域の活性化を図る。			特定財源の状況		
				社会資本整備総合交付金事業	11,700千円	
備考				公共事業等債	6,500千円	

事業区分	継続	事業名	社会資本整備総合交付金事業 市道小倉室生線				
所管課	181	建設課	(建設部)				
事業の目的	市道小倉室生線は、国道25号(名阪国道)から国道165号に通じる物流、防災、観光面等重要な役割を果たす主要幹線道路であるが、近年の通行車両の増加や車両の大型化、また老朽化により走行性に支障を来しているため、舗装修繕を行い、利用者の安全性、利便性の向上を図る。						
					区分	No.	区分名
					款	7	土木費
					項	2	道路橋梁費
					目	3	道路新設改良費
細目	13	社会資本整備総合交付金事業(小倉室生線)					
根拠条例等	「道路法42条」(道路の維持又は修繕)						
総合計画	基本計画 第3章 第2節 道路交通網の整備						
H26年度事業の概要	「社会資本整備総合交付金事業(国土交通省)」 全体計画 H22~H28年度 全体事業費 258,500千円 全体延長 L=5,330m(整備延長L=3,200m) 幅員 W=7m H26年度事業 L=300m 舗装修繕			工事費 22,654千円 事務費 869千円 合計 23,523千円			
				財源の内訳 (単位:千円)			
事業の成果	当路線は、名阪国道と宇陀市室生を結ぶ主要幹線道路であり、安全性及び利便性の向上が図られ、観光客が増加し、地域の活性化が図られる。			分担金			
				使用料			
				国費	14,660		
				県費			
				市債	9,100		
その他							
一般財源	▲ 237						
補正額	23,523						
H26補正前予算額	162						
H26現計予算額	23,685						
事業の目標	道路利用者の安全性、利便性の向上及び地域の活性化を図る。			特定財源の状況			
				社会資本整備総合交付金 14,660千円 過疎対策事業債 9,100千円			
備考							

事業区分	継続	事業名	社会資本整備総合交付金事業 市道春日野依線			
所管課	181	建設課	(建設部)			
事業の目的	当路線は、宇陀市大宇陀の南北を結ぶ重要な生活道路であり、またうだ・アニマルパークへのアクセスなど観光面にも重要な位置にあるが、車両の大型化や老朽化に伴い走行性に支障を来しているため、舗装修繕を行い、利用者の安全性、利便性の向上を図る。			宇陀市予算		
				区分	No.	区分名
				款	7	土木費
				項	2	道路橋梁費
				目	3	道路新設改良費
細目	16	社会資本整備総合交付金事業(春日野依線)				
根拠条例等	「道路法42条」(道路の維持又は修繕)					
総合計画	基本計画 第3章 第2節 道路交通網の整備					
H26年度事業の概要	「社会資本整備総合交付金事業(国土交通省)」 全体計画 H25~H29年度 全体事業費 82,000千円 全体延長 L=1,600m(整備延長L=1,400m) 幅員 W=6.5m H26年度事業 L=300m 舗装修繕			財源の内訳 (単位:千円)		
				分担金		
事業の成果	当路線は、宇陀市大宇陀地区の南北を結ぶ主要動線であり、安全性及び利便性が向上し地域の活性化を図る。			使用料		
				国費	11,700	
				県費		
				市債	6,500	
				その他		
				一般財源	359	
				補正額	18,559	
H26補正前予算額	81					
H26現計予算額	18,640					
事業の目標	道路利用者の安全性、利便性の向上及び地域の活性化を図る。			特定財源の状況		
				社会資本整備総合交付金	11,700千円	
備考				公共事業等債	6,500千円	

事業区分	継続	事業名	社会資本整備総合交付金事業		市道春日藤井・春日小附		
所管課	181	建設課	(建設部)		宇陀市予算		
事業の目的	当路線は、地域の重要な生活道路であるが、幅員が狭く、一部大型車等の通行に支障を来している。またうだ・アニマルパークに近接しており行楽シーズン等交通渋滞を招き、地域の生活にも支障を来していることから、防災面、観光面等機能を充実することにより地域の生活環境の改善を図る。				区分	No.	区分名
					款	7	土木費
					項	2	道路橋梁費
					目	3	道路新設改良費
細目	17	社会資本整備総合交付金事業(春日小附線他)					
根拠条例等	「道路法42条」(道路の維持又は修繕)						
総合計画	基本計画 第3章 第2節 道路交通網の整備						
H26年度事業の概要	「社会資本整備総合交付金事業(国土交通省)」 全体計画 H25~H29年度 全体事業費 180,000千円 全体延長 L=340m(春日藤井135m・春日小附205m) 幅員 W=7m H26年度事業 L=340m 用地費 66,100千円 測量試験費 4,800千円 事務費 902千円 合計 71,802千円				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	当路線は、宇陀市大宇陀地区の東西南北を結ぶ主要動線であり、安全性及び利便性が向上し地域の活性化を図る。				使用料		
					国費	46,020	
					県費		
					市債		
					その他	24,780	
					一般財源	1,002	
事業の目標	道路利用者の安全性、利便性の向上及び地域の活性化を図る。				補正額	71,802	
					H26補正前予算額	1,222	
					H26現計予算額	73,024	
					特定財源の状況		
備考					社会資本整備総合交付金	46,020千円	
					諸収入	12,390千円	
					基金繰入金	12,390千円	

事業区分	新規	事業名	社会資本整備総合交付金事業		市道大宇陀伊那佐線		
所管課	181	建設課	(建設部)		宇陀市予算		
事業の目的	当路線は、地域の重要な生活道路であるが、幅員が狭く、一部大型車等の通行に支障を来している。またうだ・アニマルパークに近接しており行楽シーズン等交通渋滞を招き、地域の生活にも支障を来していることから、防災面、観光面等機能を充実することにより地域の生活環境の改善を図る。				区分	No.	区分名
					款	7	土木費
					項	2	道路橋梁費
					目	3	道路新設改良費
細目	26	社会資本整備総合交付金事業(大宇陀伊那佐線)					
根拠条例等	「道路法42条」(道路の維持又は修繕)						
総合計画	基本計画 第3章 第2節 道路交通網の整備						
H26年度事業の概要	「社会資本整備総合交付金事業(国土交通省)」 全体計画 H26~H29年度 全体事業費 65,000千円 全体延長 L=140m 幅員 W=7m H26年度事業 L=140m 測量設計 4,600千円 合計 4,600千円				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		国費
事業の成果	当路線は、防災面及び観光面の機能が充実し、地域の交通環境の向上が図られる。				使用料		
					県費		
					市債		
					その他	1,050	
					一般財源	625	
事業の目標	道路利用者の安全性、利便性の向上及び地域の活性化を図る。				補正額	4,600	
					H26補正前予算額		
					H26現計予算額	4,600	
備考					特定財源の状況		
					社会資本整備総合交付金	2,925千円	諸収入

事業区分	新規	事業名	社会資本整備総合交付金事業 駐車場整備事業1工区				
所管課	181	建設課	(建設部)				
事業の目的	うだ・アニマルパークや宇陀松山重伝建地区への来訪者の増加により、ゴールデンウィークなど行楽期には、周辺市道で交通渋滞を招き、地域住民の通行の妨げや地域の交通環境に支障を来しているため、防災面や観光面等において新たな駐車場を確保するもの。				宇陀市予算		
					区分 No.	区分名	
					款	7	土木費
					項	2	道路橋梁費
					目	3	道路新設改良費
細目	27	社会資本整備総合交付金事業(駐車場整備1工区)					
根拠条例等	「道路法42条」(道路の維持又は修繕)						
総合計画	基本計画 第3章 第2節 道路交通網の整備						
H26年度事業の概要	社会資本整備総合交付金事業 駐車場整備事業1工区 面積 A=7,600㎡ 駐車場台数 163台 全体事業費 161,000千円 事業期間 H26～H29年度 H26年度 測量・設計			財源の内訳 (単位:千円)			
				分担金			
事業の成果	駐車場を確保することにより、地域の交通環境が改善され、またうだ・アニマルパークや宇陀松山重伝建地区への来訪者の増加に対する受入が可能となり、更には緊急時の避難所等の役割を果たす。			使用料			
				国費	3,900		
				県費			
				市債			
				その他	1,400		
				一般財源	800		
				補正額	6,100		
H26補正前予算額							
H26現計予算額	6,100						
事業の目標	駐車場を確保することにより、地域の交通環境が改善され、またうだ・アニマルパークや宇陀松山重伝建地区への来訪者の増加に対する受入が可能となり、更には緊急時の避難所等の役割を果たす。			特定財源の状況			
				社会資本整備総合交付金	3,900千円		
備考				諸収入	700千円		
				基金繰入金	700千円		

事業区分	新規	事業名	社会資本整備総合交付金事業 駐車場整備事業2工区				
所管課	181	建設課	(建設部)				
事業の目的	うだ・アニマルパークや宇陀松山重伝建地区への来訪者の増加により、ゴールデンウィークなど行楽期には、周辺市道で交通渋滞を招き、地域住民の通行の妨げや地域の交通環境に支障を来しているため、防災面や観光面等において新たな駐車場を確保するもの。			宇陀市予算			
				区分	No.	区分名	
				款	7	土木費	
				項	2	道路橋梁費	
				目	3	道路新設改良費	
細目	28	社会資本整備総合交付金事業(駐車場整備2工区)					
根拠条例等	「道路法42条」(道路の維持又は修繕)						
総合計画	基本計画 第3章 第2節 道路交通網の整備						
H26年度事業の概要	社会資本整備総合交付金事業 駐車場整備事業2工区 面積 A=4,600㎡ 駐車場台数 69台(普通49台、大型20台) 全体事業費 82,750千円 事業期間 H26～H29年度 H26年度 測量・設計			測量・設計委託料 4,300千円 不動産鑑定 500千円 補償等調査 500千円 登記等委託料 816千円 用地費 5,800千円			
				合計 11,916千円			
事業の成果	駐車場を確保することにより、地域の交通環境が改善され、またうだ・アニマルパークや宇陀松山重伝建地区への来訪者の増加に対する受入が可能となり、更には緊急時の避難所等の役割を果たす。			財源の内訳 (単位:千円)			
				分担金			
				使用料			
				国費	7,680		
事業の目標	駐車場を確保することにより、地域の交通環境が改善され、またうだ・アニマルパークや宇陀松山重伝建地区への来訪者の増加に対する受入が可能となり、更には緊急時の避難所等の役割を果たす。			県費			
				市債			
				その他	4,136		
				一般財源	100		
				補正額	11,916		
備考				H26補正前予算額			
				H26現計予算額	11,916		
				特定財源の状況			
			社会資本整備総合交付金	7,680千円			
			諸収入	2,068千円			
			基金繰入金	2,068千円			

事業区分	新規	事業名	市有地整備事業 大宇陀下竹春日				
所管課	181	建設課	(建設部)				
事業の目的	当市有地は、隣接するうだ・アニマルパーク臨時駐車場として使用しているが、未整備部分があり有効活用がなされていないことにより、行楽期には、周辺市道が交通渋滞を招き、地域の生活環境に影響を及ぼしているため、近年アニマルパーク及び宇陀松山重伝建地区の来訪者の駐車場需要にあわせ、整備を行うもの。						
					区分	No.	区分名
					款	7	土木費
					項	2	道路橋梁費
					目	3	道路新設改良費
細目	29	観光駐車場整備事業					
根拠条例等	「道路法42条」(道路の維持又は修繕)						
総合計画	基本計画 第3章 第2節 道路交通網の整備						
H26年度事業の概要	観光駐車場整備事業 面積 A=7,150㎡ 駐車場台数 117台 事業期間 H26～H29年度 H26年度 測量・設計			財源の内訳 (単位:千円)			
	測量・設計委託料 8,000千円 登記等委託料 1,500千円 合計 9,500千円			分担金 使用料 国費 県費 市債 9,000 その他			
事業の成果	駐車場整備により、地域の交通環境が改善され、またうだ・アニマルパークや宇陀松山重伝建地区への来訪者の増加に対する受入が可能となり、更には地域の緊急時の避難所等の役割を果たす。						
	一般財源			500			
	補正額			9,500			
事業の目標	駐車場整備により、地域の交通環境が改善され、またうだ・アニマルパークや宇陀松山重伝建地区への来訪者の増加に対する受入が可能となり、更には地域の緊急時の避難所等の役割を果たす。						
	特定財源の状況						
	合併特例債			9,000千円			
備考							

事業区分	新規	事業名	都市計画基礎調査			
所管課	161	都市計画課	(建設部)			
事業の目的	・奈良県は、国土交通省が定めるところにより、おおむね5年ごとに都市計画に関する基礎調査として、人口規模、産業分類別の就業人口の規模、市街地の面積、土地利用、交通量その他国土交通省が定める事項に関する現況及び将来の見通しについて調査を行うため、関係市町村に対し、資料の提出、その他必要な資料について協力を求められている。				宇陀市予算	
					区分 No. 区分名	
					款 7 土木費	
					項 4 都市計画費	
					目 1 都市計画総務費	
細目 1 本庁都市計画総務費						
根拠条例等	都市計画法 第6条 都市計画に関する基礎調査					
総合計画						
H26年度事業の概要	・調査項目の主な項目 1. 市街化区域人口及び市街化調整区域人口の推移 2. 土地利用の現況 3. 市街地開発事業等の状況 4. 農地転用の状況 5. 宅地開発における入居戸数等の状況 6. 災害及び郊外状況 7. 指定避難地・避難路の状況 8. 建築用地別状況 9. 中心市街地の建物状況 10. 都市施設の整備状況 等				財源の内訳 (単位:千円)	
					分担金	
事業の成果	・都市計画基礎調査は、調査結果のデータやその変化を把握するだけでなく、都市の持続性や生活の質について、現状及び将来の見通しを客観的に評価するために活用する。評価にあたっては、都市計画の目標等の達成状況が客観的・定量的に確認ができ、「経済」「社会」「環境」の視点など住民に分かりやすい評価指標を設定する。これらの結果に基づいて、都市計画の他地域との比較や全国的な傾向との比較に活用する事ができる。				使用料	
					国費	
					県費	
					市債	
					その他	
一般財源	8,000					
補正額	8,000					
H26補正前予算額						
H26現計予算額	8,000					
事業の目標	・今後の都市計画施策や住民によるまちづくり活動の検討を行い、都市の健全な発展と秩序ある整備を図る。				特定財源の状況	
備考						

事業区分	新規	事業名	都市公園園路維持修繕事業					
所管課	161	都市計画課	(建設部)					
事業の目的	都市公園施設に於いて、利用者が安心・安全に利用できる施設整備を行うことにより、地域住民の活性化を図る。 また、当箇所は、榛原駅へのアクセスや通学路にもなっており、早期改修が必要である。				宇陀市予算			
					区分	No.	区分名	
					款	7	土木費	
					項	4	都市計画費	
					目	1	都市計画総務費	
細目	1	本庁都市計画総務費						
根拠条例等	都市公園法に基づく宇陀市公園条例							
総合計画	基本計画 第1章 第5節 公園・緑地の整備							
H26年度事業の概要	都市公園園路維持修繕事業 高萩台東公園通路修繕工事 L=15m B=3m インターロッキング舗装 1,000千円				財源の内訳 (単位:千円)			
					分担金			
事業の成果	都市公園機能の保全を図り、利用者が安心して利用できる。				使用料			
					国費			
					県費			
					市債			
					その他	1,000		
					一般財源			
事業の目標	市民の交流の場、憩いの場としてや災害時の避難地、復旧拠点として、安心・安全な整備に努め、市民の安全に繋げる。				特定財源の状況			
					榛原駅北区画整理事業地区公共施設等整備基金繰入金 1,000千円			
備考								

事業区分	継続	事業名	高萩台自転車駐車場		
所管課	161	都市計画課	(建設部)		
事業の目的	・自転車等の駐車秩序を確立することにより、近鉄榛原駅周辺の環境を確保する。				宇陀市予算
					区分 No. 区分名
					款 7 土木費
					項 4 都市計画費
					目 1 都市計画総務費
細目 2 高萩台自転車駐車場費					
根拠条例等	宇陀市高萩台自転車等駐車場条例				
総合計画	基本計画 第3章 第3節 公共交通機関の充実				
H26年度事業の概要	・自転車駐車場運営経費 単位:千円			財源の内訳 (単位:千円)	
	当初	6月補正	計	分担金	
	需用費 1,763	5,700	7,463	使用料	
	役務費 106	0	106	国費	
	委託料 5,623	0	5,623	県費	
	計 7,492	5,700	13,192	市債	
	◎4月に自動ゲートを設置し、経費の節減を行ったことにより、通路の洗浄、駐輪場の表示等リニューアルを行う。				その他 5,700
事業の成果	・近鉄榛原駅周辺の放置自転車の解消と駅周辺の環境保全を目的として、平成3年8月に供用を開始した。放置自転車の減少により、榛原駅周辺は良好な景観形成が図られている。				一般財源
					補正額 5,700
					H26補正前予算額 7,492
					H26現計予算額 13,192
事業の目標	・近鉄榛原駅まで、車での送迎を行うよりも、自転車通勤・通学で駐輪場を利用することで、駅周辺道路の交通渋滞の緩和や放置自転車の無い良好な環境づくり、また、安心・安全なまちづくりを確立する。				特定財源の状況
					榛原駅北区画整理事業地区公共施設等整備基金繰入金 5,700千円
備考					

事業区分	継続	事業名	都市公園健康遊具設置事業				
所管課	163	公園課	(建設部)		宇陀市予算		
事業の目的	ウェルネスシティ推進事業の一環として、都市公園に健康遊具を設置し、市民が散歩の途中や施設利用時に気軽に筋力アップや休憩が図れる様に整備し、気軽に健康作りができることを目的とする。				区分	No.	区分名
					款	7	土木費
					項	4	都市計画費
					目	2	公園費
細目	1	公園費					
根拠条例等	都市公園法に基づき宇陀市公園条例						
総合計画	基本計画 第1章 第5節 公園・緑地の整備、第2章 第1節 健康づくりの推進						
H26年度事業の概要	・ぶら下がり(肩のストレッチ)、パラレルバー(腕や肩の筋力アップ・腹筋の強化)の2種を予定。 都市公園1カ所に予定。				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	住民自ら健康に対する意識向上効果と共に、体のストレッチ等の体力維持に期待できる。 平成25年度 2カ所に設置 ・背のばしベンチ(背筋のストレッチ、肩の柔軟性アップ) ・腹筋ベンチ (お腹・脚の筋力アップ) ・ぶらぶらストレッチ(腕・肩・背中の柔軟性アップ、筋力アップ) ・バランス円盤(足首・ひざの柔軟性)				使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他		
					一般財源	1,500	
補正額	1,500						
H26補正前予算額							
H26現計予算額	1,500						
事業の目標	市民が気軽に筋力アップを図り、健康の維持増進に取り組む機会を身近に提供できることから、健康寿命を延ばすことができる。				特定財源の状況		
備考							

事業区分	継続	事業名	都市公園等施設維持修繕事業				
所管課	163	公園課	(建設部)		宇陀市予算		
事業の目的	市内都市公園施設において、利用者が安心・安全に利用できる施設整備を行うことにより、地域住民の活性化を図る。				区分	No.	区分名
					款	7	土木費
					項	4	都市計画費
					目	2	公園費
					細目	1	公園費
根拠条例等	都市公園法に基づき宇陀市公園条例						
総合計画	基本計画 第1章 第5節 公園・緑地の整備						
H26年度事業の概要	都市公園等施設維持修繕工事 1)大宇陀人麻呂公園 駐車場舗装補修工事 A=510㎡ 3,500千円 2)榛原ふれあい広場整備 休憩施設(東屋)1基、歩道橋(人道橋)1基 4,000千円				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	都市公園機能の保全を図り、利用者が安心して利用できる。				使用料		
					国費		
					県費		
					市債	7,100	
					その他		
					一般財源	400	
					補正額	7,500	
H26補正前予算額	3,300						
H26現計予算額	10,800						
事業の目標	市民の交流の場、憩いの場としてや災害時の避難地、復旧拠点として、安心安全な整備に努め、住民の活性化に繋げる。				特定財源の状況		
					合併特例債	7,100千円	
備考							

平成 26 年度 宇陀市 一般会計

補正予算 [第 1 号] 事業別シート

事業区分	継続	事業名	公園費			
所管課	163	公園課	(建設部)			
				宇陀市予算		
事業の目的	都市公園・緑地47箇所、面積38.2ha並びに鳥見山自然公園等都市公園以外の公園・緑地30カ所、面積19.4haの合わせて77公園・緑地面積57.6haの維持管理を行っている。市民の憩いの場として休憩、観賞、散歩、遊戯、運動等総合的な利用を供する目的でまた、防火等の災害防止に資する目的として、みんなの公園という考えのもとで行政と住民が協働しながら、これらの公園等の空間整備を管理していく。			区分	No.	区分名
				款	7	土木費
				項	4	都市計画費
				目	2	公園費
細目	1	公園費				
根拠条例等	都市公園法に基づき宇陀市公園条例					
総合計画	基本計画 第1章 第5節 公園・緑地の整備					
H26年度事業の概要	11:需用費 6:修繕料 補正前 850千円 補正後1,450千円 ・天満台公園施設 1式 142千円(休憩施設、テーブル) ・室生不思議の森公園 1式 128千円(舞台) ・大宇陀人麻呂公園 1式 180千円(簡易公衆トイレ) ・公園擬木柵補修 1式 150千円 16:原材料費 4:補修用材料費 補正前 230千円 補正後 455千円 ・天満台公園ベンチ座板 1式 150千円 ・公園植樹用樹木費 15本 75千円 13:委託料 31:都市公園等管理委託料 補正前 8,219千円 補正後 8,519千円 ・都市公園等不要木伐採委託 300千円			財源の内訳 (単位:千円)		
				分担金		
事業の成果	市民の憩いの場として、安心安全を提供する。			使用料		
				国費		
				県費		
				市債		
				その他		
				一般財源	1,125	
補正額	1,125					
H26補正前予算額	17,222					
H26現計予算額	18,347					
事業の目標	公園内の施設について、定期的な点検など、安心安全な維持管理を地域住民と共に連携をとりながら実施し、憩いの空間作りを行う。			特定財源の状況		
備考						

事業区分	継続	事業名	東榛原市民農園整備事業					
所管課	163	公園課	(建設部)					
事業の目的	天満台団地と接する里山において、家族がともに土とふれあい、レクリエーションの場とした市民農園の設置や、斜面にあつては土砂災害防止策と室生ダムの水質を保全するため、スギ、桧等の人工林から根の深いクヌギ等の樹種に転換し、四季の彩りを演出する自然を取り戻す形の公園整備を行う。				宇陀市予算			
					区分	No.	区分名	
					款	7	土木費	
					項	4	都市計画費	
					目	2	公園費	
細目	81	東榛原市民農園整備事業						
根拠条例等	都市公園に基づき宇陀市公園条例							
総合計画	基本計画 第1章 第5節 公園・緑地の整備							
H26年度事業の概要	整備面積 5.6ha 主要工事 農園整備・遊歩道整備・植栽工・溪流整備 事業期間 平成25年度～27年度(予定) 平成26年度 全体事業費 23,050,000円 内補助対象 20,000,000円(1/2国庫補助、補助残95%起債) 設計委託(補助) 3,300,000円 工事費(補助) 16,700,000円 工事費(単独) 2,450,000円 事務費 600,000円				財源の内訳 (単位:千円)			
					分担金			
事業の成果	公園機能の効果の他に、天満台団地の土砂災害防止と室生ダム湖の水質保全などの効果が期待できる。				使用料			
					国費	10,000		
					県費			
					市債	10,400		
					その他			
					一般財源	2,650		
					補正額	23,050		
H26補正前予算額								
H26現計予算額	23,050							
事業の目標	市民農園を行う事によって、利用者自らの組織化により、農園運営を始め公園全体の管理も行うことが可能となり、地域に密着した利用と協働により、施設維持管理費コストの削減が図られる。				特定財源の状況			
					社会資本整備総合交付金	10,000千円		
備考					合併特例債	10,400千円		

事業区分	継続	事業名	下井足高萩線道路改良事業				
所管課	161	都市計画課	(建設部)				
事業の目的	・長谷寺7号踏切(下井足)の渋滞緩和や、交通安全対策、榛原駅周辺市街地を結ぶアクセス道路を整備することにより、市民生活の利便性の向上を図る。				宇陀市予算		
					区分 No.	区分名	
					款	7	土木費
					項	4	都市計画費
					目	3	社会資本整備推進事業費
細目	1	社会資本整備総合交付金事業費					
根拠条例等							
総合計画	基本計画 第3章 第2節 道路交通網の整備						
H26年度事業の概要	平成26年度予算 300千円 ・土地鑑定手数料				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	・近鉄榛原駅北口広場へのアクセス強化と、南口広場の交通渋滞の緩和が図られる。 ・長谷寺7号踏切の渋滞緩和・交通安全対策となる。 ・榛原駅周辺市街地の活性化、定住促進・定住環境の整備が図られる。				使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他		
					一般財源	300	
					補正額	300	
H26補正前予算額							
H26現計予算額	300						
事業の目標	・宇陀市の中心市街地の交通網の整備を行い、周辺の土地利用を図る。				特定財源の状況		
備考							

事業区分	継続	事業名	墨坂通り線道路改良事業			
所管課	161	都市計画課	(建設部)			
事業の目的	・市街地の骨格となる都市計画道路の整備を進めるとともに、宇陀市立病院へのアクセス道路として、また、交差点改修を行うことにより、安全で快適な環境づくりを図る。				宇陀市予算	
					区分 No. 区分名	
					款 7 土木費	
					項 4 都市計画費	
					目 3 社会資本整備推進事業費	
細目 1 社会資本整備総合交付金事業費						
根拠条例等						
総合計画	基本計画 第3章 第2節 道路交通網の整備					
H26年度事業の概要	平成26年度予算 12,000千円 ・道路用地費 A=142㎡				財源の内訳 (単位:千円)	
					分担金	
事業の成果	道路用地の確保				使用料	
					国費	
					県費	
					市債	11,400
					その他	
					一般財源	600
					補正額	12,000
					H26補正前予算額	
H26現計予算額	12,000					
事業の目標					特定財源の状況	
					合併特例債	11,400千円
備考						

事業区分	継続	事業名	市道萩原12号線道路整備事業			
所管課	161	都市計画課	(建設部)			
事業の目的	・市街地を中心により安全で暮らしよい道路網の整備を行い、歩行者や自転車通行者へ配慮した道路整備を進める。				宇陀市予算	
					区分 No. 区分名	
					款 7 土木費	
					項 4 都市計画費	
					目 3 社会資本整備推進事業費	
細目 1 社会資本整備総合交付金事業費						
根拠条例等						
総合計画	基本計画 第3章 第2節 道路交通網の整備					
H26年度事業の概要	平成26年度予算額 単位:千円				財源の内訳 (単位:千円)	
	・工事費	5,000	L=30m	分担金		
	・委託費	6,000	家屋調査・分筆登記	使用料		
	・用地費	11,000	A=120m ²	国費	59,800	
	・建物補償費	70,000	2棟	県費		
	・役務費	300	土地鑑定	市債	31,100	
	計	92,300		その他		
事業の成果	・密集市街地に於いて、消防自動車等の緊急車両が通行可能となり、地域住民が安心・安全な暮らしを確保する。 ・南都銀行・大和信用金庫・新町郵便局へのアクセス道路として、また、商業サービス環境の充実と賑わいの創出が図られる。				一般財源	1,400
					補正額	92,300
					H26補正前予算額	
					H26現計予算額	92,300
事業の目標	・中心市街地周辺を良好な道路環境にすることにより、快適で安全に移動できる道路環境を創る。				特定財源の状況	
					社会資本整備総合交付金 59,800千円 合併特例債 31,100千円	
備考						

事業区分	継続	事業名	市立病院周辺道路整備事業					
所管課	161	都市計画課	(建設部)					
事業の目的	・奈良県東部地域の医療確保のため、唯一の公立病院である宇陀市立病院へのアクセス道路を整備することにより、緊急車両の通行がスムーズになり、市民が安心して暮らせるまちづくりを目指す。				宇陀市予算			
					区分	No.	区分名	
					款	7	土木費	
					項	4	都市計画費	
					目	3	社会資本整備推進事業費	
細目	2	リノベーション事業費						
根拠条例等								
総合計画	基本計画 第3章 第2節 道路交通網の整備							
H26年度事業の概要	・平成26年度予算額 2,000千円 委託料 2,000千円(筆界調査)				財源の内訳 (単位:千円)			
					分担金			
事業の成果	市立病院周辺道路は、慢性的な渋滞が起きており、緊急車両の通行に支障をきたしている。本路線を改良することにより、国道からの進入がスムーズになり、市民が安心して暮らせる道路整備を図る。				使用料			
					国費			
					県費			
					市債			
					その他			
					一般財源	2,000		
事業の目標	市立病院へのアクセス強化を図る。				補正額	2,000		
					H26補正前予算額			
					H26現計予算額	2,000		
備考					特定財源の状況			

事業区分	新規	事業名	宇陀松山活性化事業				
所管課	161	都市計画課	(建設部)				
事業の目的	・宇陀市では、人口の減少と高齢化、地場産業の停滞などにより、地域の活力が低下しており、経済社会情勢に対応した都市の再構築(リノベーション)が求められている。松山重要伝統的建造物群保存地区に於いて、酒造りの製造・見学・体験できる施設を整備し、土産物を販売できる観光用酒蔵の整備を行い、地域の活性化、個性的で質の高いまちづくりを目的とする。				宇陀市予算		
					区分	No.	区分名
					款	7	土木費
					項	4	都市計画費
					目	3	社会資本整備推進事業費
細目	2	リノベーション事業費					
根拠条例等							
総合計画	基本計画 第5章 第4節 観光の振興						
H26年度事業の概要	平成26年度予算額 単位:千円			財源の内訳 (単位:千円)			
	委託費	3,000	家屋調査費 1軒	分担金			
	用地費	11,500	A=325m ²	使用料			
	建物補償費	35,000	1軒	国費	24,750		
	役務費	300	土地鑑定費	県費			
	計	49,800		市債	23,700		
	◎本年度建物調査を行い用地交渉する。				その他		
事業の成果	重伝建地区を訪れる人だけでなく、多くの人が立ち寄る道の駅「宇陀路大宇陀」のすぐ東側に、観光用酒蔵を整備することで、松山地区の魅力を発信すると共に、地域の活性化、観光客の増加に繋がる。				一般財源	1,350	
					補正額	49,800	
					H26補正前予算額		
					H26現計予算額	49,800	
事業の目標	古くからの酒蔵がある場所で、観光施策と連携し伝統文化の継承と地域の活性化を図る。同時に松山重要伝統的建造物群保存地区への観光客の増加を図る。			特定財源の状況			
				社会資本整備総合交付金(リノベーション事業)	24,750千円		
				合併特例債	23,700千円		
備考							

事業区分	継続	事業名	公営住宅ストック総合改善事業				
所管課	182	公営住宅課	(建設部)				
事業の目的	菟田野川原・下川原団地 風雨及び冬季の積雪・凍結による2階部分の北面外壁の結露対策として、社会資本整備総合交付金事業を活用し対策工事を実施することにより、市営住宅の長寿命化を図り、管理に係る今後の維持修繕費用のコスト削減を行う。				宇陀市予算		
					区分 No.	区分名	
					款	7	土木費
					項	5	住宅費
					目	1	住宅管理費
細目	1	本庁住宅管理費					
根拠条例等	宇陀市営住宅条例・宇陀市営改良住宅条例						
総合計画	基本計画 第3章 第1節 定住拠点の構築						
H26年度事業の概要	住宅地区改良事業等(国土交通省) 菟田野 川原・下川原団地 北面外壁結露対策工事 3棟6戸				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	風雨や積雪時の凍結による結露により、住宅の北面外壁に限り劣化が激しく、雨漏りの原因となるため、対策工事を実施することにより、市営住宅の長寿命化を図り管理コストの削減を図る。				使用料		
					国費	1,750	
					県費		
					市債		
					その他		
					一般財源	2,756	
					補正額	4,506	
H26補正前予算額							
H26現計予算額	4,506						
事業の目標					特定財源の状況		
					社会資本整備総合交付金 1,750千円		
備考							

事業区分	新規	事業名	消防団員等公務災害等損害補償費				
所管課	43	危機管理課	(総務部)		宇陀市予算		
事業の目的	公務災害補償制度は、消防団員・水防団員が災害現場での防災活動等により死亡、負傷、又は疾病にかかった等の場合は、条例の定めにより、その者又はその遺族に対して損害を補償する。				区分	No.	区分名
					款	8	消防費
					項	1	消防費
					目	2	非常備消防費
細目	1	本庁非常備消防費					
根拠条例等	宇陀市消防団員等公務災害補償条例						
総合計画							
H26年度事業の概要	療養補償費 2名 A氏 1,124,951円 (診療費・移送費654,311円、休業補償費470,640円) 平成25年8月31日発生 河川水利点検時、倒れていたゲートを起こすさいに左手小指が挟まり負傷した。 平成26年5月20日決定通知有 B氏 32,194円(診療費・移送費) 平成25年12月29日発生 年末警戒中に、機庫前の通路で転倒し捻挫した。 平成26年5月20日決定通知有				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	消防団員等公務災害補償等共済基金は、災害共済契約を締結している市町村に対して、消防団員等の公務災害による損害補償に要する経費を支払う。 <参考> 1年間の掛金 消防団員・水防団員に係る分 団員1名 ⇒ 1,900円 消防作業・水防従事者等に係る分 人口割 1名 ⇒ 3.5円				使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他	1,158	
				一般財源			
				補正額	1,158		
				H26補正前予算額			
				H26現計予算額	1,158		
事業の目標					特定財源の状況		
					消防団員等公務災害等共済基金損害補償費 1,158千円		
備考							

事業区分	継続	事業名	防災行政無線システム整備事業				
所管課	43	危機管理課	(総務部)		宇陀市予算		
事業の目的	現在、運用中のアナログ波防災行政無線(旧町村別4波)の設備を更新統合し、デジタル波防災行政無線(市内全域1波)に整備し、非常時の情報伝達システムを構築する。				区分	No.	区分名
					款	8	消防費
					項	1	消防費
					目	3	災害対策費
					細目	1	災害対策費
根拠条例等							
総合計画	基本計画 第3章 第5節 安全・安心な暮らしの実現						
H26年度事業の概要	整備申請・打合せ出張交通費 60,000円 中継局・屋外拡声子局電気代 540,000円 建築確認申請手数料 75,000円 整備設計管理業務 4,320,000円 防災情報通信設備工事 327,000,000円 中継局舎用地借地料 32,000円 中継局舎用地立木補償 300,000円				財源の内訳 (単位:千円)		
	非常時に、全市民に迅速かつ正確な情報を伝達するとともに、避難所等との通信手段の確保、情報収集に活用することが出来、災害による被害を最小限度にとどめ、市民の安全を確保する。				分担金		
使用料							
国費							
県費							
市債					340,700		
その他							
事業の成果					一般財源	▲ 8,373	
					補正額	332,327	
					H26補正前予算額		
					H26現計予算額	332,327	
事業の目標					特定財源の状況		
					緊急防災・減災事業債	340,700千円	
備考							

事業区分	新規	事業名	洪水ハザードマップ整備・活用事業			
所管課	43	危機管理課	(総務部)			
事業の目的 防災意識の向上と自然災害への十分な備えを図るため、洪水ハザードマップを作成・印刷し、市内全戸を対象として配布を行う。			宇陀市予算			
			区分	No.	区分名	
			款	8	消防費	
			項	1	消防費	
			目	3	災害対策費	
細目	1	災害対策費				
根拠条例等	水防法 第15条第3項					
総合計画	基本計画 第3章 第5節 安全・安心な暮らしの実現					
H26年度 事業の概要	洪水ハザードマップ修正印刷 6種類(A1) 20,000枚 $900,000円 \times 1.08 = 972,000円$ 配布 $250,000円 \times 1.08 = 270,000円$			財源の内訳 (単位:千円)		
				分担金		
事業の成果	市民及び市内外関係機関に災害危険箇所等をあらかじめ周知することで、防災意識の高揚並びに災害予防と災害時における避難並びに救援等の対応を適切に行うことが出来る。			使用料		
				国費		
				県費		
				市債		
				その他		
				一般財源	1,242	
				補正額	1,242	
H26補正前予算額						
H26現計予算額	1,242					
事業の目標	特定財源の状況					
備考						

事業区分	新規	事業名	地域防災計画見直し事業					
所管課	43	危機管理課	(総務部)					
事業の目的	東日本大震災や紀伊半島大水害の教訓を生かした国や県の防災計画の見直しによる変更と合併後の現状を踏まえ、地域防災計画の見直しを行う。				宇陀市予算			
					区分	No.	区分名	
					款	8	消防費	
					項	1	消防費	
					目	3	災害対策費	
細目	1	災害対策費						
根拠条例等	平成23年5月6日付け消防第157号消防庁長官通知							
総合計画	基本計画 第3章 第5節 安全・安心な暮らしの実現							
H26年度事業の概要	宇陀市地域防災計画見直し業務委託 ・関係資料の収集及び防災上の課題の整理 ・地域防災計画検討素案の作成 ・災害時職員初動マニュアルの作成 5,400,000円 × 1.08 = 5,832,000円				財源の内訳 (単位:千円)			
					分担金			
事業の成果	奈良県防災計画見直しの重点項目と市の現状を反映した宇陀市地域防災計画の作成により災害発生時の県や防災関係機関との連携がスムーズに行える。 また、職員の初動マニュアルを作成することにより災害の種類による体制づくりや的確な行動を迅速に行える。				使用料			
					国費			
					県費			
					市債			
					その他			
					一般財源		5,832	
補正額		5,832						
H26補正前予算額								
H26現計予算額		5,832						
事業の目標					特定財源の状況			
備考								

事業区分	新規	事業名	消防団組織再編に伴う機庫等建設事業				
所管課	43	危機管理課	(総務部)		宇陀市予算		
事業の目的	宇陀市消防団再編計画に基づく施設整備により、大宇陀第1分団機庫3箇所を1箇所へ統合したため、旧機庫(3部、4部)の解体撤去を行い、借用している施設用地を土地所有者に返還する。				区分	No.	区分名
					款	8	消防費
					項	1	消防費
					目	5	消防施設費
					細目	1	本庁消防施設費
根拠条例等							
総合計画	基本計画 第3章 第5節 安全・安心な暮らしの実現						
H26年度事業の概要	実施設計監理委託料 $3,100,000円 \times 0.3 \times 1.08 = 1,004,400円$ 機庫解体撤去工事 $3,100,000円 \times 1.08 = 3,348,000円$				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	旧組織で使用していた消防団施設であるため老朽化のため倒壊のおそれがあるので、撤去することで付近住民の安全を確保できる。 また、土地の所有者への返還で土地の有効利用が図れる。				使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他		
					一般財源	4,353	
					補正額	4,353	
H26補正前予算額							
H26現計予算額	4,353						
事業の目標					特定財源の状況		
備考							

事業区分	新規	事業名	小型動力ポンプ付積載車購入事業				
所管課	43	危機管理課	(総務部)		宇陀市予算		
事業の目的	消防施設の整備により消防団活動の充実強化を図り、宇陀市民の安全と安心を確保する。				区分	No.	区分名
					款	8	消防費
					項	1	消防費
					目	5	消防施設費
					細目	1	本庁消防施設費
根拠条例等							
総合計画	基本計画 第3章 第5節 安全・安心な暮らしの実現						
H26年度事業の概要	宇陀市消防団組織再編の方針により、小型動力ポンプ付積載車を更新する。 公用車購入 7,000千円 諸経費 163千円				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	災害時における機動力の確保、故障や不具合等の不安解消など、消防力の充実強化を図ることができる。				使用料		
					国費		
					県費		
					市債	7,000	
					その他		
					一般財源	163	
					補正額	7,163	
H26現計予算額	7,163						
事業の目標					特定財源の状況		
					緊急防災・減災事業債	7,000千円	
備考							

事業区分	新規	事業名	消防施設保全管理・整備事業				
所管課	43	危機管理課	(総務部)		宇陀市予算		
事業の目的	宇陀市民の安心と安全を確保する。				区分	No.	区分名
					款	8	消防費
					項	1	消防費
					目	5	消防施設費
					細目	1	本庁消防施設費
根拠条例等							
総合計画	基本計画 第3章 第5節 安全・安心な暮らしの実現						
H26年度事業の概要	旧大宇陀人権交流センター(施設含む)売却に伴い、防火水槽・火の見櫓移設費用を計上。 ただし、老朽化により移設場所に新設設置費用を計上。旧施設に付いては撤去する。 委託料 1,296千円 工事費 6,480千円				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	旧大宇陀人権交流センターの売却がスムーズに実施できる。				使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他	5,000	
					一般財源	2,776	
					補正額	7,776	
H26補正前予算額							
H26現計予算額	7,776						
事業の目標					特定財源の状況		
					財産収入	5,000千円	
備考							

事業区分	新規	事業名	教育センター事業補助員配置事業				
所管課	606	教育総務課	(教育委員会事務局)		宇陀市予算		
事業の目的	教育の充実及び振興並びに青少年の健全な育成を図る教育センター事業を円滑に行うため、専属の臨時職員を配置し、連絡調整等を行う。				区分 No.	区分名	
					款	9	教育費
					項	1	教育総務費
					目	2	事務局費
細目	1	本庁事務局費					
根拠条例等	◆教育基本法及び学校教育法 ◆宇陀市立学校の管理運営に関する規則ほか						
総合計画	基本計画 第4章 第3節 教育環境の整備・充実						
H26年度事業の概要	時給940円×7時間×12日×9ヶ月=710,640円 交通費 6,500円×9ヶ月=58,500円 合計 769,140円				財源の内訳 (単位:千円)		
	下記事業の補助を行う (1)教育相談、就学相談に関すること (2)特別支援教育に関すること (3)学校、家庭、地域との連携に係る相談に関すること (4)教育相談、就学相談に係る関係機関との連携調整に関すること (5)不登校児童生徒の適応指導及び相談に関すること (6)その他教育相談、特別支援教育及び就学相談に関すること				分担金		
事業の成果	○スクールカウンセラー 平成24年4月～ 市費スクールカウンセラー1名を榛原小学校に配置 県スクールカウンセラー派遣のない学校の相談に対応する 平成25年4月～ 市費スクールカウンセラーを県費スクールカウンセラーの派遣のない学校に派遣する。これにより、市内すべての小中学校にカウンセラーが配置可能となった				使用料		
	○ほほえみ教室(通級指導教室)について 平成23年5月～ 榛原小学校に開設 指導員・市費教諭1名 種別 言語・LD(学習障害)等 平成24年4月～ 指導員が県費教諭となる				国費		
	○適応指導教室(はばたき) 平成21年1月に菟田野地域事務所で開催 平成26年4月より大宇陀地域事務所に移設				県費		
					市債		
				その他			
				一般財源	770		
				補正額	770		
				H26補正前予算額			
				H26現計予算額	770		
事業の目標	教育の充実及び振興並びに青少年の健全な育成を図る。				特定財源の状況		
備考							

事業区分	新規	事業名	ICT支援員派遣事業				
所管課	606	教育総務課	(教育委員会事務局)		宇陀市予算		
事業の目的	ICTについては、技術進歩が速い、技術的な知識・ノウハウが必要である等の事情から、外部人材の活用は効果的であり、戦略的に重要である。 理科支援員、スクールカウンセラー等のように、学校でも外部人材が積極的に活用されていることから、ICT支援員を派遣し、学校や教員を支援する。				区分	No.	区分名
					款	9	教育費
					項	1	教育総務費
					目	2	事務局費
細目	1	本庁事務局費					
根拠条例等	◆教育基本法及び学校教育法 ◆宇陀市立学校の管理運営に関する規則ほか						
総合計画	基本計画 第4章 第3節 教育環境の整備・充実						
H26年度事業の概要	1,500円×7時間×1回×8校×9ヶ月=756,000円 交通費 6,500円×9ヶ月=58,500円 合計 814,500円 パソコン教室機器入替等のハードの環境整備とともに、各小・中学校にICT支援員を1日/月程度派遣し、ソフト面での強化も図る。ICTの活用により、学校ではこれまで以上にわかりやすい授業を推進し、高度情報化社会に適應する児童・生徒の情報活用能力の育成および情報モラルの習得を行う。				財源の内訳 (単位:千円)		
	市内小中学校のPC教室のパソコン機器入替に伴い、機器のサポートを行っている。2年間(2回/月)実施。サポートされていない学校及びサポートが終了する学校へ新たに支援員を派遣する。 現在サポートされている学校 大宇陀小学校(H25.4) 榛原西小学校(H24.9) 大宇陀中学校(H25.10) 榛原中学校(H26.3)				分担金		
使用料							
国費							
県費							
市債							
その他							
事業の成果					一般財源	815	
					補正額	815	
					H26補正前予算額		
					H26現計予算額	815	
事業の目標	授業でのICT活用について教員に研修を行うことは必要である。ICT活用の場面や方法は多様であり、身近にある機器・ソフトウェアや素材を使って簡単にできる活用のコツやノウハウをつかむこと、慣れることでICT活用指導力は格段に高まるため、利用のきっかけを与えてICT活用の良さへの教員の気づきを生むことを検証し、授業などにおけるICT活用を円滑に進める環境づくりを推進する。				特定財源の状況		
備考							

事業区分	継続	事業名	JFAこころのプロジェクト「夢の教室」				
所管課	606	教育総務課	(教育委員会事務局)		宇陀市予算		
事業の目的	財団法人日本サッカー協会の協力により、JFAこころのプロジェクト「夢の教室」を市内全小学校の5年生を対象に開催し、夢を持つことの大切さ、なかまと協力することの大切さ、フェアプレー精神の大切さを児童に伝える。				区分	No.	区分名
					款	9	教育費
					項	1	教育総務費
					目	2	事務局費
細目	1	本庁事務局費					
根拠条例等	小学校学習指導要領						
総合計画	基本計画 第4章 第3節 教育環境の整備・充実						
H26年度事業の概要	講師謝金(夢先生) 50,000円×1.08×12学級=648,000円 講師謝金(アシスタント) 20,000円×1.08×12学級=259,200円 交通費(東京～榛原)26,200円×7往復×3人=550,200円 宿泊費 10,000円×8泊×3人=240,000円 計1,697,400円 ■派遣対象 小学5年 クラス単位 ■実施内容 基本的に「JFA こころのプロジェクト」(日本サッカー協会)のカリキュラム実施時間90分(前半35分「ゲームの時間」後半55分「トークの時間」) ■実施日 派遣決定後、学校、講師等と調整して決定				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	平成22年度～平成24年度まで継続して実施。 本物のスポーツ選手に直接触れることで、夢を持って努力することの大切さを学び、ルールを守ることやフェアプレー精神を学ぶことで規範意識が醸成され、仲間と助け合うことで、社会性を身につけていくなど、本事業を行う有効性は相当に高いと考える。				使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他		
一般財源	1,698						
補正額	1,698						
H26補正前予算額							
H26現計予算額	1,698						
事業の目標	本事業を体験することで、夢を持つことの大切さや、目標に向かって努力することの大切さを本物に触れながら学習でき、そのことによって健全な児童の育成を図ることを目的とする。				特定財源の状況		
備考							

事業区分	新規	事業名	旧宇賀志小学校用地確定業務				
所管課	606	教育総務課	(教育委員会事務局)		宇陀市予算		
事業の目的	学校の統合により廃校となった学校施設の財産を保全し、今後の跡地の活用に資する。				区分	No.	区分名
					款	9	教育費
					項	1	教育総務費
					目	2	事務局費
					細目	1	本庁事務局費
根拠条例等							
総合計画	基本計画 第4章 第3節 教育環境の整備・充実						
H26年度事業の概要	宇賀志小学校用地確定業務 測量業務委託 650,000円 用地確定業務 2,000,000円 事務費 50,000円 計2,700,000円				財源の内訳 (単位:千円)		
	学校施設は、地域住民にとっての身近な公共施設であり、またその校舎などは地域のシンボリックな存在である場合も多く、廃校となった後もできるだけ地域コミュニティの拠点として活かすことが重要であると考えます。 地域資源を活かし、地域経済の活性化につながるような活用方法も検討する。				分担金		
使用料							
事業の成果	完了施設(4施設) 平成20年度:(旧)伊那佐小学校 平成23年度:(旧)宇太小学校、(旧)宇太保育所 (旧)田原小学校 地籍調査済み区域(3施設) (旧)下芳野小学校、(旧)芳野保育所 (旧)多田小学校(一部完了)				国費		
					県費		
					市債		
					その他		
					一般財源	2,700	
	補正額	2,700					
	H26補正前予算額						
	H26現計予算額	2,700					
事業の目標	学校の統合により廃校となった学校施設の財産を保全し、今後の跡地の活用に資する。				特定財源の状況		
備考							

事業区分	新規	事業名	校務用パソコン更新事業				
所管課	606	教育総務課	(教育委員会事務局)		宇陀市予算		
事業の目的	教員の校務の多忙化が指摘されており、教員1人1台のコンピュータ整備など校務の情報化により教員の事務負担の軽減を図り、子どもと向き合う時間を確保することを目的とする。				区分	No.	区分名
					款	9	教育費
					項	1	教育総務費
					目	2	事務局費
細目	1	本庁事務局費					
根拠条例等	◆教育基本法及び学校教育法 ◆宇陀市立学校の管理運営に関する規則ほか						
総合計画	基本計画 第4章 第3節 教育環境の整備・充実						
H26年度事業の概要	校務用パソコン 100,000円×1台×11校 計1,100,000円 Windows XPのサポート終了に伴い、全小中学校の校務用パソコンを定期的に更新し、情報通信ネットワークなどの活用を図る。 また、「わかる授業」を実現し「確かな学力」の育成に資するため、教員がICT機器を効果的に活用した授業を展開することが重要となっていることから、校務用パソコンを定期的に更新し、効果的な授業の展開並びに事務の効率化を図る。「わかる授業」を実現し「確かな学力」の育成に資するため、教員がICT機器を効果的に活用した授業を展開することが重要となっていることから、校務用パソコンを定期的に更新し、効果的な授業の展開並びに事務の効率化を図る。				財源の内訳 (単位:千円)		
	平成21年度 ICT環境整備事業で、各校に配布 平成25年度 教頭用PCとして、各校1台配布				分担金		
使用料							
国費							
県費							
市債							
その他							
事業の成果					一般財源	1,100	
					補正額	1,100	
					H26補正前予算額		
					H26現計予算額	1,100	
事業の目標	授業などにおけるICT活用				特定財源の状況		
備考							

事業区分	継続	事業名	適応指導教室(はばたき)				
所管課	606	教育総務課	(教育委員会事務局)		宇陀市予算		
事業の目的	宇陀市内小・中学校の不登校児童・生徒の自立を図り、在籍校への復帰を促すとともに、状況に応じた適切な指導や学習の機会を設定し、学習継続への意欲化を図る。				区分	No.	区分名
					款	9	教育費
					項	1	教育総務費
					目	2	事務局費
					細目	5	教育センター事業費
根拠条例等	宇陀市適応指導教室設置要領						
総合計画	基本計画 第4章 第3節 教育環境の整備・充実						
H26年度事業の概要	はばたき職員の旅費 155千円				財源の内訳 (単位:千円)		
	平成25年度に引き続き、週2日(水・金、学校長期休業中は休み)開室を予定しており、児童生徒は、9時～14時40分まで在室している。指導員は、心理士2名。同時に相談業務も行い、必要により保護者と面接し、児童生徒の家庭での生活状況の把握、保護者へのケアも行う。学校との連携を密にするため必要に応じ訪問。教諭、スクールカウンセラー、はばたき指導員の連携をもち、子供を見守っていく。学校へ復帰した児童生徒のフォローも定期的実施。学校長期休業中は、相談業務を重点的に行う。				分担金		
事業の成果	H24年度は、正式通室6名で、うち2名が学校に戻ることが出来ている。のべ相談回数46回、通室回数150回になった。通室が増えたことにより、今後は、通室と相談業務を並行して行う必要がある。また、H25年度において、夏季休暇期間に、はばたき教室卒業者の懇親会を開催、卒業生全員の参加があり、近況を報告してもらえた。現在自分たちのペースで高校に通学しているとの報告をうけた。今後、学校と連携し、関わりがもてない児童生徒に対しても働きかけができるようにしたい。				使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他		
一般財源		155					
補正額		155					
H26補正前予算額		2,094					
H26現計予算額		2,249					
事業の目標	適応指導教室に来室することで、まずは心理的な居場所を確保し、学習機会を保障することや、学校だけでなく、将来大人になったときへの社会への適応を促すための助力となりたい。				特定財源の状況		
備考							

事業区分	新規	事業名	学びの広場プラン					
所管課	606	教育総務課	(教育委員会事務局)					
事業の目的	市内幼児、小学生、中学生の基礎学力向上。				宇陀市予算			
					区分	No.	区分名	
					款	9	教育費	
					項	1	教育総務費	
					目	2	事務局費	
細目	5	教育センター事業費						
根拠条例等	宇陀市教育センター事業実施要綱							
総合計画	基本計画 第4章 第3節 教育環境の整備・充実							
H26年度事業の概要	学びの広場研修講師謝金 300千円				財源の内訳 (単位:千円)			
	「学力向上プロジェクト」に代わり、平成26年度は、このプロジェクトを礎に、より効果的な学力向上プランとして、「学びの広場プラン」と題した事業を立ち上げる。このプロジェクトは、各学校の教員の授業力向上を図る「教員支援プラン」(研究授業に専門家を招き教員の「授業力向上」を目指す。)さらに、全国学力状況調査等の結果を鑑み、各校独自の課題を見出して、その解決に取り組み、実践を行う「課題解決プラン」の二つの柱を中心に市内幼児、小、中学生の基礎学力向上を目指す。(平成26年度～平成27年度の2年間実施)				分担金			
事業の成果	H23～H25 学力向上プロジェクト				使用料			
					国費			
					県費			
					市債			
					その他			
一般財源	300							
補正額	300							
H26補正前予算額								
H26現計予算額	300							
事業の目標	幼稚園、保育所、小・中学生の基礎学力を向上させる。				特定財源の状況			
備考								

事業区分	継続	事業名	教育相談(心理)				
所管課	606	教育総務課	(教育委員会事務局)		宇陀市予算		
事業の目的	発達や不登校についての親や教職員の悩みを心理的な立場から相談を行い少しでも解消すること。				区分	No.	区分名
					款	9	教育費
					項	1	教育総務費
					目	2	事務局費
					細目	5	教育センター事業費
根拠条例等	宇陀市教育センター事業実施要綱						
総合計画	基本計画 第4章 第3節 教育環境の整備・充実						
H26年度事業の概要	教育相談講師謝金 336千円				財源の内訳 (単位:千円)		
	臨床心理士による教育相談業務。保護者・学校・幼稚園・保育所の担任、子供で相談を受けることが可能なため、家庭だけ、学校だけではない、統一した子供への関わりや指導についてのアドバイスが可能である。必要に応じて発達検査を行い、結果を保護者へお知らせし、相談を進める。専門の相談員によるアドバイスがあるため、利用者からの評価が高く、幼稚園・保育所を卒園卒業しても、継続して相談を受けているケースが非常に多くなっているため、平成26年度も同様に事業を継続する。				分担金		
事業の成果	H25年度の教育相談件数135回実施した。発達検査を用い定期的に子供の状態を把握し、保護者や教職員に対してアドバイスを行う。継続希望の方が非常に多い。昨年度より臨床心理士による毎週月曜日の固定と、月1回の奈良大学准教授の先生による相談体制をとることが出来た。保護者の相談だけで予約がいっぱいになるので、教職員だけの相談は緊急時をのぞきお断りしているが、要望は多い。ニーズのある教職員に対しての相談をどうすすめるかと、相談に足が向かない保護者に対してどのようにするかが課題である。				使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他		
一般財源		336					
補正額		336					
H26補正前予算額		1,844					
H26現計予算額		2,180					
事業の目標	現在相談に来られる保護者の方から、年度が替わっても、小・中に行っても相談が続けられることが良いとの声を聞いている。今後も継続していきたい。				特定財源の状況		
備考							

事業区分	継続	事業名	通級指導教室(ほほえみ)				
所管課	606	教育総務課	(教育委員会事務局)		宇陀市予算		
事業の目的	①通常の学級に在籍している子ども達の中で、ことばやコミュニケーション、社会性に困難を抱えている子どもを育むために特別な支援を行う。 ②ことばやコミュニケーション、社会性に困難を抱えている子どもに、幼児期の早い時期に適切で専門的な指導(保護者や教職員に対しても)を行うことにより、その子の本来持っている力を十分に発揮し、いきいきとした社会生活を送れるように支援する。				区分	No.	区分名
					款	9	教育費
					項	2	小学校費
					目	1	学校管理費
細目	12	通級指導教室費					
根拠条例等	学校教育法施行規則第140条:宇陀市通級指導教室設置要領						
総合計画	基本計画 第4章 第3節 教育環境の整備・充実						
H26年度事業の概要	臨時職員賃金 1,260千円 通常学級に在籍しているが、特別な教育的支援を必要としている子どもたちへ、それぞれの子どもの実態に応じて指導を行う。榛原小学校内に教室を設置し、自校及び他校の児童生徒が個々に応じて通級する。 平成24年度より県費講師1名が配置され、通級者、相談者、就学前の幼稚園児、保育園児の利用も大幅に増加していることから、指導員を1名増員し、利用者のニーズに対応する。				財源の内訳 (単位:千円)		
	平成25年度は相談件数93件、相談回数9705回、正式通級者が21名となる。 保護者や教職員からも、宇陀市で教室ができて高い評価を得ている。 幼稚園で通級を受け、小学校で入級しているが、保護者が相談を継続して受けたり、保護者が小学校の教諭に依頼し、学校での指導のアドバイスを受けたりしており、継続した対応に、少しずつ指導の成果が出てきていると喜ばれている。 市療育教室卒業後の相談場所を求めて来られる方も多く、利用者が増加しており対応が必要になっている。 今後も安定的に継続して運営を行い、子どもたちへの教育支援を行う。				分担金		
使用料							
国費							
県費							
市債							
その他							
事業の成果					一般財源	1,260	
					補正額	1,260	
					H26補正前予算額	254	
					H26現計予算額	1,514	
事業の目標	県費職員になったことにより、近隣市町村からも通級希望が来られる。今後も受入体制を整え、より充実した支援として広めていく。				特定財源の状況		
備考							

事業区分	新規	事業名	学校施設整備事業【榛原西小学校体育館耐震補強】				
所管課	606	教育総務課	(教育委員会事務局)		宇陀市予算		
事業の目的	学校施設は、児童が一日の大半を過ごす活動の場であり、非常災害時には地域住民の応急的な避難場所としての役割を果たすことから、施設の耐震化を進める。				区分	No.	区分名
					款	9	教育費
					項	2	小学校費
					目	3	耐震化事業費
					細目	1	耐震化事業費
根拠条例等	公立学校施設に係る大規模地震対策関係法令及び地震防災対策関係法令の運用細目						
総合計画	基本計画 第4章 第3節 教育環境の整備・充実						
H26年度事業の概要	榛原西小学校体育館の耐震改修・大規模改修工事の設計業務				財源の内訳 (単位:千円)		
	細節	科目	要求額	備考	分担金		
	需用費	消耗品費	10千円		使用料		
	役務費	手数料	300千円	補強判定手数料	国費		
	委託料	設計業務	9,000千円		県費		
		監理業務			市債	9,200	
	工事請負費	耐震補強等工事			その他		
	備品購入費	学校管理備品			一般財源	110	
合計		9,310千円		補正額	9,310		
事業の成果	平成23年度において、全ての学校施設の耐震2次診断を行った。これにより、市内の学校施設で耐震が必要な施設が明確となり、国が示す平成27年度に耐震化率100%に向け、宇陀市耐震推進計画を策定し計画的に耐震化を進める諸準備が整理された。				H26補正前予算額		
					H26現計予算額	9,310	
事業の目標	IS値が国の示す基準より低いことから、耐震補強工事等の設計を行う。				特定財源の状況		
					緊急防災・減災事業債 9,200千円		
備考							

事業区分	新規	事業名	室生中学校トイレ改修工事																							
所管課	606	教育総務課	(教育委員会事務局)																							
事業の目的 ・水を使うスペースがきれいになることで、学校全体の印象が良くなる。例えば、トイレがきれいになることで、トイレに行くことへの抵抗感が少なくなり、健康につながる。 ・使いやすく明るい雰囲気の手洗いで、自然なコミュニケーションが生まれる。 ・トイレをきれいに使うこととともに、他の人への配慮といったマナーを学び、清掃活動の重要性に気づくことで、公共精神の涵養につながる。					宇陀市予算																					
					区分	No.	区分名																			
					款	9	教育費																			
					項	3	中学校費																			
					目	1	学校管理費																			
細目	1	本庁中学校管理費																								
根拠条例等	公立学校施設に係る大規模地震対策関係法令及び地震防災対策関係法令の運用細目																									
総合計画	基本計画 第4章 第3節 教育環境の整備・充実																									
H26年度 事業の概要	①1～3階の生徒用トイレの洋式化 ②2～3階の多目的トイレの改修等				財源の内訳 (単位:千円)																					
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>細節</th> <th>科目</th> <th>要求額</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>需用費</td> <td>消耗品費</td> <td>600千円</td> <td>事務費</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>監理業務</td> <td>4,000千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事請負費</td> <td>トイレ改修工事</td> <td>45,000千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>49,600千円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				細節	科目	要求額	備考	需用費	消耗品費	600千円	事務費	委託料	監理業務	4,000千円		工事請負費	トイレ改修工事	45,000千円		合計		49,600千円		分担金	
	細節	科目	要求額	備考																						
	需用費	消耗品費	600千円	事務費																						
	委託料	監理業務	4,000千円																							
工事請負費	トイレ改修工事	45,000千円																								
合計		49,600千円																								
				使用料																						
				国費																						
				県費																						
				市債	49,600																					
				その他																						
				一般財源																						
				補正額	49,600																					
				H26補正前予算額																						
				H26現計予算額	49,600																					
事業の成果	平成24年度 大宇陀小学校 平成25年度 榛原小学校・大宇陀中学校																									
事業の目標	○トイレ、手洗い、水飲み場を明るくきれいな空間とし、使いやすく、かつ会話が弾む楽しい場所を目指す。 ○水まわりスペースをきれいにする事で、学校全体の印象が良くなる。また、そのきれいな状態を自分たちで維持することを通じて、マナーや清掃活動の重要性を学ぶ。				特定財源の状況 過疎対策事業債 49,600千円																					
備考																										

事業区分	新規	事業名	学校施設整備事業【榛原中学校校舎耐震補強】																																							
所管課	606	教育総務課	(教育委員会事務局)																																							
事業の目的	学校施設は、児童が一日の大半を過ごす活動の場であり、非常災害時には地域住民の応急的な避難場所としての役割を果たすことから、施設の耐震化を進める。				宇陀市予算																																					
					区分	No.	区分名																																			
					款	9	教育費																																			
					項	3	中学校費																																			
					目	4	耐震化事業費																																			
細目	1	耐震化事業費																																								
根拠条例等	公立学校施設に係る大規模地震対策関係法令及び地震防災対策関係法令の運用細目																																									
総合計画	基本計画 第4章 第3節 教育環境の整備・充実																																									
H26年度事業の概要	榛原中学校校舎の耐震改修・大規模改修工事の設計業務			財源の内訳 (単位:千円)																																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>細節</th> <th>科目</th> <th>要求額</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>需用費</td> <td>消耗品費</td> <td>10千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td>手数料</td> <td>800千円</td> <td>補強判定手数料</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>設計業務</td> <td>25,000千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>25,810千円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	細節	科目	要求額	備考	需用費	消耗品費	10千円		役務費	手数料	800千円	補強判定手数料	委託料	設計業務	25,000千円		合計		25,810千円		<table border="1"> <tbody> <tr><td>分担金</td><td></td></tr> <tr><td>使用料</td><td></td></tr> <tr><td>国費</td><td></td></tr> <tr><td>県費</td><td></td></tr> <tr><td>市債</td><td>25,600</td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>210</td></tr> <tr><td>補正額</td><td>25,810</td></tr> <tr><td>H26補正前予算額</td><td></td></tr> <tr><td>H26現計予算額</td><td>25,810</td></tr> </tbody> </table>		分担金		使用料		国費		県費		市債	25,600	その他		一般財源	210	補正額	25,810	H26補正前予算額		H26現計予算額
細節	科目	要求額	備考																																							
需用費	消耗品費	10千円																																								
役務費	手数料	800千円	補強判定手数料																																							
委託料	設計業務	25,000千円																																								
合計		25,810千円																																								
分担金																																										
使用料																																										
国費																																										
県費																																										
市債	25,600																																									
その他																																										
一般財源	210																																									
補正額	25,810																																									
H26補正前予算額																																										
H26現計予算額	25,810																																									
事業の成果	平成23年度において、全ての学校施設の耐震2次診断を行った。これにより、市内の学校施設で耐震が必要な施設が明確となり、国が示す平成27年度に耐震化率100%に向け、宇陀市耐震推進計画を策定し計画的に耐震化を進める諸準備が整理された。																																									
事業の目標	IS値が国の示す基準より低く、校舎2棟及び渡り廊下1棟の耐震補強工事並びに校舎の大規模改修工事の設計を行う。			特定財源の状況 緊急防災・減災事業債 25,600千円																																						
備考	現施設データ 20棟 S55.9建築 RC造 1,717㎡ Is値0.59 21棟 S57.5建築 RC造 2,767㎡ Is値0.33 渡り廊下A S57.5建築 RC造 175.5㎡ Is値0.37 工事概要 校舎・渡り廊下 耐震補強工事 大規模改修工事 トイレ改修工事 外構工事																																									

事業区分	継続	事業名	指定文化財保存事業					
所管課	604	文化財課	(教育委員会事務局)					
事業の目的	市全体の文化財保護事業を行う。国・県・市指定文化財の保存修理、設備点検環境整備、伝承事業等の実施に伴う補助金等の交付を行うものである。				宇陀市予算			
					区分	No.	区分名	
					款	9	教育費	
					項	5	社会教育費	
					目	4	文化財保護費	
細目	1	本庁文化財保護費						
根拠条例等	宇陀市文化財保護条例、宇陀市文化財保存事業費補助金交付要綱							
総合計画	基本計画 第5章 第3節 歴史・文化資源の保全と活用							
H26年度事業の概要	西方寺に安置されている「薬師如来立像」が平成26年に県指定重要文化財から国指定重要文化財に指定されたことに伴い、市民等へ啓発する為のリーフレットの作成。 出土遺物を整理保存する施設の空調設備修繕。 需用費 619千円				財源の内訳 (単位:千円)			
					分担金			
事業の成果	○国指定文化財となった薬師如来立像を市民や拝観者また来訪者等へのサービス向上が図られる。 ○市内遺跡から出土した遺物等の整理作業環境が整い、作業効率が向上する。				使用料			
					国費			
					県費			
					市債			
					その他			
一般財源	619							
補正額	619							
H26補正前予算額	800							
H26現計予算額	1,419							
事業の目標	指定文化財や史跡からの遺物を後世に残していくため、文化財の適切な保護・管理を実施する。				特定財源の状況			
備考								

事業区分	継続	事業名	天然記念物保存事業				
所管課	604	文化財課	(教育委員会事務局)		宇陀市予算		
事業の目的	国及び県指定天然記念物の保護、繁殖等を行い、貴重な財産を市民に啓発し、市民自らの保護活動活性化への一助とし、後世に伝えていく。				区分 No.	区分名	
					款	9	教育費
					項	5	社会教育費
					目	4	文化財保護費
細目	3	天然記念物保存事業費					
根拠条例等	文化財保護法						
総合計画	基本計画 第5章 第3節 歴史・文化資源の保全と活用						
H26年度事業の概要	天然記念物八房杉は樹木医による杉の現地調査・診断を行い、診断書を作成する。 特別天然記念物オオサンショウウオは、保護活動を兼ねた市民参加型保護生息調査の実施。 県天然記念物ツルマンリョウは、野生鹿の食害防止柵の設置。				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
		使用料					
		国費					
		県費					
		市債					
		その他					
事業の成果	貴重な天然記念物の生息確認や繁殖への弊害を取り除くことにより、市民や来訪者へのサービス向上が図れる。 平成27年秋に、オオサンショウウオ全国大会が奈良県では初めて宇陀市で開催され、保護活動の活性化へと結びつき、沢山の来訪者が予想され大自然の中の宇陀市をアピールすることが出来る。				一般財源	699	
					補正額	699	
					H26補正前予算額	710	
					H26現計予算額	1,409	
事業の目標	国、県天然記念物の保存を行い後世に伝えていく。				特定財源の状況		
備考							

事業区分	継続	事業名	埋蔵文化財発掘調査事業				
所管課	604	文化財課	(教育委員会事務局)		宇陀市予算		
事業の目的	市内遺跡の発掘調査、個人の開発行為に先立つ事前発掘調査、遺跡保存のための確認調査、出土遺物の保存処理・過年度の調査成果整理等を実施する。				区分	No.	区分名
					款	9	教育費
					項	5	社会教育費
					目	4	文化財保護費
細目	4	埋蔵文化財発掘調査費(国県費)					
根拠条例等	文化財保護法						
総合計画	基本計画 第5章 第3節 歴史・文化資源の保全と活用						
H26年度事業の概要	●保存活用事業 ・体験学習会 ・埋蔵文化財等広報資料作成 ・埋蔵文化財の保存活用のための整理事業 需用費 500千円				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	体験学習、広報資料を通じて埋蔵文化財(遺跡)や郷土の歴史について関心を深めてもらうとともにその保存についても理解できる方策を講じる。				使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他		
					一般財源	500	
補正額	500						
H26補正前予算額	5,506						
H26現計予算額	6,006						
事業の目標	市内遺跡の発掘調査、個人の開発行為に先立つ事前発掘調査、遺跡保存のための確認調査、出土遺物の保存処理・過年度の調査成果整理等を実施する。 埋蔵文化財(遺跡)や郷土の歴史について関心を深めてもらうとともにその保存・活用についても理解してもらう。				特定財源の状況		
備考							

事業区分	新規	事業名	町家公開活用施設整備事業				
所管課	604	文化財課	(教育委員会事務局)		宇陀市予算		
事業の目的	国道赤砂利交差点から松山地区への入口に位置する町家を活用し、宇陀松山城跡・松山重伝建地区の情報閲覧や、休憩できる機能を備えた観光の拠点施設を整備する。 道の駅から見える範囲に歴史的建造物を見せて街並みの存在を知らせ、来館者には重伝建地区を始め宇陀松山城跡へ誘導する。散策前の予備知識を得られ、休息なども可能となる事から、来訪者への便宜を図ることにより、松山地区の満足度を高め、リピーターを増やす。				区分	No.	区分名
					款	9	教育費
					項	5	社会教育費
					目	4	文化財保護費
細目	21	まちなみ保存整備事業費					
根拠条例等	文化財保護法、宇陀市松山地区伝統的建造物群保存地区保存条例						
総合計画	基本計画 第5章 第3節 歴史・文化資源の保全と活用						
H26年度事業の概要	赤砂利交差点北東角の小規模町家を取得 公有財産購入費 9,319千円				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	町家は、つし2階建てであることから、1階部分は来訪者への情報掲示スペースと食事も取れる休憩スペースとし、2階部分はボランティアなどの詰所等とすることにより、1軒の町家全体が活用できる。サービスの向上は来訪者の増加が見込め、また、来訪者の増加により市内NPOやまちづくり団体が活性化する。				使用料		
					国費	4,650	
					県費	930	
					市債	3,500	
					その他		
					一般財源	239	
					補正額	9,319	
H26補正前予算額							
H26現計予算額	9,319						
事業の目標	・地元業者の工事による仕事の創出 ・NPO等による指定管理業務の創出 ・来訪者の増加				特定財源の状況		
					重要伝統的建造物群保存地区保存事業費補助金(国庫補助金) 4,650千円 重要伝統的建造物群保存地区保存事業費補助金(県補助金) 930千円 合併特例債 3,500千円		
備考							

事業区分	継続	事業名	史跡宇陀松山城跡保存整備事業		
所管課	604	文化財課	(教育委員会事務局)		
			宇陀市予算		
事業の目的	平成18年7月に国の史跡指定を受けた「宇陀松山城跡」は、中世の秋山氏の築城に始まり、豊臣政権下では大和郡山城、高取城と並んで大和支配の拠点とされてきた。 城跡は近世初頭の城割りと呼ばれる廃城とその時期や内容が一体として把握できる非常に希な事例である。 この城跡を保存すると共に、宇陀市に存する貴重な歴史遺産として来訪者に公開するため城跡へのアクセス道路を新設し、もって当該地域はもとより宇陀市の活性化の一助とすることを目的とする。		区分	No.	区分名
			款	9	教育費
			項	5	社会教育費
			目	4	文化財保護費
細目	23	史跡宇陀松山城跡整備事業			
根拠条例等	文化財保護法				
総合計画	基本計画 第5章 第3節 歴史・文化資源の保全と活用				
H26年度事業の概要	平成26年度は、 (1)天守郭・天守郭周辺部の保存整備工事 (2)南西虎口部(雀門周辺)、南東虎口部(大門)の発掘調査報告書の刊行の実施を計画している。		財源の内訳 (単位:千円)		
			分担金		
		使用料			
		国費	4,500		
		県費	2,700		
		市債	1,100		
		その他			
事業の成果	平成18年7月に国史跡指定を受けた面積は67,667㎡と広大であり、そのうち総石垣づくりの約22,450㎡の公有化を実施している。 整備範囲は公有化を行った範囲を中心に、城跡への登城道部分を対象としている。 遺構内容・城割りの状況と範囲・石垣等の崩落箇所の保全・修復等の関係を十分に検討しながら保存整備を進めることで貴重な歴史資料とすることができる。		一般財源	714	
			補正額	9,014	
			H26補正前予算額	1,480	
			H26現計予算額	10,494	
事業の目標	宇陀市内には中世に宇陀三将と呼ばれる澤氏、芳野氏、秋山氏の居城跡があるが、詳細な調査が実施され史跡指定されているのは当該松山城跡だけである。 これを宇陀市のシンボルの一つとして活用することにより、宇陀市の活性化に資することを目標とする。		特定財源の状況		
			史跡宇陀松山城跡保存整備事業費補助金(国庫補助金) 4,500千円 史跡宇陀松山城跡保存整備事業費補助金(県補助金) 2,700千円 合併特例債 1,100千円		
備考					

事業区分	継続	事業名	宇陀松山城登城道整備事業				
所管課	604	文化財課	(教育委員会事務局)		宇陀市予算		
事業の目的	平成18年7月に国の史跡指定を受けた「宇陀松山城跡」は、中世の秋山氏の築城に始まり、豊臣政権下では大和郡山城、高取城と並んで大和支配の拠点とされてきた。 城跡は近世初頭の城割りと呼ばれる廃城とその時期や内容が一体として把握できる非常に希な事例である。 この城跡を保存すると共に、宇陀市に存する貴重な歴史遺産として来訪者に公開するため城跡へのアクセス道路を新設し、もって当該地域はもとより宇陀市の活性化の一助とすることを目的とする。				区分	No.	区分名
					款	9	教育費
					項	5	社会教育費
					目	4	文化財保護費
細目	23	史跡宇陀松山城跡整備事業					
根拠条例等	文化財保護法						
総合計画	基本計画 第5章 第3節 歴史・文化資源の保全と活用						
H26年度事業の概要	平成26年度の事業概要は、「(仮)松山城線」の道路新設工事を行う。 工事請負費 40,000千円				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	当該事業の実施により、ある程度まで車でのアクセスが可能になるため、高齢者や子どもでも城跡へ登ることが容易となる。 典型的な山城跡を見学することを容易にすることで、当該地域及び宇陀市の活性化の一助とすることが期待できる。				使用料		
					国費		
					県費		
					市債	38,000	
					その他		
					一般財源	2,000	
					補正額	40,000	
H26補正前予算額							
H26現計予算額	40,000						
事業の目標	宇陀市内には中世に宇陀三将と呼ばれる澤氏、芳野氏、秋山氏の居城跡があるが、詳細な調査が実施され史跡指定されているのは当該松山城跡だけである。 これを宇陀市のシンボルの一つとして活用することにより、宇陀市の活性化に資することを目標とする。				特定財源の状況		
					合併特例債	38,000千円	
備考							

事業区分	新規	事業名	森野薬草園保護事業				
所管課	604	文化財課	(教育委員会事務局)		宇陀市予算		
事業の目的	寛保3年(1743年)、幕府から官園において栽培していた貴重な種苗を下付され、これを植えたことによって、薬園がはじまる。 大正15年には、国史跡に指定され、史跡地内には、桃岳庵や石水亭などの建造物も遺存し、薬園としての旧態が良く保たれている。しかし、近年は、周辺部において杉や竹などが繁茂し、環境の悪化が進んでおり、建造物の傷みも著しい。また、薬草畑の一部では、管理が行き届かない場所も認められ、荒廃が進行しつつある。 このため、当園の適切な保存・管理を行うため、整備計画・管理計画・利活用計画などの検討を行い、保存管理計画を策定する。				区分	No.	区分名
					款	9	教育費
					項	5	社会教育費
					目	4	文化財保護費
細目	26	史跡森野旧薬園整備事業費					
根拠条例等	文化財保護法						
総合計画	基本計画 第5章 第3節 歴史・文化資源の保全と活用						
H26年度事業の概要	奈良県教育委員会・専門家・関係者等によって、「史跡森野旧薬園保存管理計画策定委員会」(仮称)を組織し、史跡森野旧薬園の整備計画・管理計画・利活用計画などの検討を行う。 事業は、宇陀市教育委員会の直営とするが、史跡森野旧薬園の現状調査及び保存管理計画の策定業務は、専門業者に委託する。				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	森野旧薬園の適切な保存・管理を行うため、整備計画・管理計画・利活用計画などの検討を行い、保存管理計画を策定し、今後、この計画をもとに保存整備事業を行い、史跡の保全と活用をはかる。				使用料		
					国費	1,540	
					県費		
					市債		
					その他		
					一般財源	1,547	
					補正額	3,087	
H26補正前予算額							
H26現計予算額	3,087						
事業の目標	国史跡森野旧薬園の保全と活用をはかるため、国史跡森野旧薬園の保存管理計画を策定する。 保存管理計画策定後は、この計画をもとに森野旧薬園の保存整備事業を行う。				特定財源の状況		
					史跡森野旧薬園保存整備事業費補助金 1,540千円		
備考							

事業区分	新規	事業名		寄贈資料の管理運用事業			
所管課	661	図書館	(教育委員会事務局)		宇陀市予算		
事業の目的	宇陀市に寄贈された約1万冊の資料を整理し、宇陀市民の財産として適切な状態で管理・運用することにより、資料の周知と活用を促す。				区分	No.	区分名
					款	9	教育費
					項	5	社会教育費
					目	5	図書館費
細目	1	図書館費					
根拠条例等							
総合計画	基本計画 第4章 第4節 生涯学習の充実、 第5章 第5節 交流施策の充実						
H26年度事業の概要	寄贈資料約1万冊を図書館システムにデータ入力し、資料データの閲覧を可能にする。データ化された資料の保管先を市図書館等に定め、寄贈資料を効果的に展示イベント等に活用していく。				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	寄贈資料の有効な活用により、寄贈された貴重資料の閲覧を可能にし、更なる集客を図る。				使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他		
					一般財源	3,257	
					補正額	3,257	
H26補正前予算額							
H26現計予算額	3,257						
事業の目標	寄贈された資料を価値評価し、円滑に管理運用することにより、貴重資料の広域周知及び活用を図る。				特定財源の状況		
備考							

事業区分	継続	事業名	街なみ環境整備事業											
所管課	604	文化財課	(教育委員会事務局)		宇陀市予算									
事業の目的	街なみ環境整備事業については、宇陀松山地区重要伝統的建造物群保存地区を包含する松山地区街なみ環境整備事業実施区域において、質の高い文化財としての街なみ景観を保存するとともに、そこに暮らす人々が住みやすいように住環境を整備するという事業目的を持っている。				区分	No.	区分名							
					款	9	教育費							
					項	5	社会教育費							
					目	6	街なみ環境整備事業費							
細目	20	街なみ環境整備事業費												
根拠条例等	国土交通省 街なみ環境整備事業制度要綱													
総合計画	基本計画 第5章 第3節 歴史・文化資源の保全と活用													
H26年度事業の概要	平成26年度は、松山通りL=300mの道路美装化・街路灯の整備事業実施を予定している。				財源の内訳 (単位:千円)									
	<table border="1"> <tr> <td>需用費</td> <td>288千円</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td>2千円</td> </tr> <tr> <td>工事請負費</td> <td>40,800千円</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>15,200千円</td> </tr> </table>				需用費	288千円	役務費	2千円	工事請負費	40,800千円	負担金	15,200千円	分担金	
需用費	288千円													
役務費	2千円													
工事請負費	40,800千円													
負担金	15,200千円													
事業の成果	松山街なみ環境整備事業実施区域にあつては、古くから受け継がれてきた民家が密集し、事業実施区域のおよそ半分が国の宇陀松山地区重要伝統的建造物群保存地区に指定されている。この事業地区において、平成13年度から事業を実施し、道路の美装化をはじめ、まちづくりセンター「千軒舎」、まちなみギャラリー「石景庵」などの生活環境施設の整備をおこなっており、当該地区の都市景観は、「歴史的町並み」と呼ぶに相応しいものとなりつつある。				使用料									
					国費		17,834							
					県費									
					市債		36,900							
					その他									
					一般財源		1,556							
				補正額		56,290								
				H26補正前予算額										
				H26現計予算額		56,290								
事業の目標	街なみ環境整備地区である宇陀松山地区は城下町に端を発する商家町である。街なみ環境整備事業のみならず、重要伝統的建造物群保存地区や宇陀松山城跡等を一体的事業と位置づけて事業展開を進めることにより、空き家の増加により低下している「まち」の活力を取り戻すことを目標とする。				特定財源の状況									
					街なみ環境整備事業費補助金 17,834千円 合併特例債 36,900千円									
備考														

事業区分	新規	事業名	全国高校総体事業費				
所管課	602	生涯学習課	(教育委員会事務局)		宇陀市予算		
事業の目的	教育活動の一環として高等学校生徒に広くスポーツ実践の機会を与え、技術向上と、スポーツ精神の高揚を図るとともに、生徒相互の親睦を深め、心身ともに健全な青少年を育成することを目的とすることを趣旨に開催される全国高校総体において、事前練習用・大会用マットを購入し、大会の円滑な実施に資する。 また、事業目標のとおり、大会終了後も継続的に使用していく。				区分	No.	区分名
					款	9	教育費
					項	6	保健体育費
					目	1	保健体育総務費
細目	3	全国高校総体事業費					
根拠条例等							
総合計画							
H26年度事業の概要	空手マット購入 2セット 1,780千円(税込)				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	全国高校総体開催を契機に南部・東部の地域おこしを図り、今後宇陀市が県の大会の会場となり、空手といえば宇陀市と成りえるようにアピールしていく。				使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他		
					一般財源	1,780	
補正額	1,780						
H26補正前予算額							
H26現計予算額	1,780						
事業の目標	平成27年度に実施される全国高校総体を契機に、奈良県南部東部において、スポーツによる地域振興を県と協働しながら進めていく。宇陀市においては、空手の実施会場となることから、高校総体後の空手の普及や大会開催を継続的に行っていきたい。 全国高校総体に全国から来られる参加選手及び応援者に対して、宇陀市をPRする。宇陀市に来てよかったと思ってもらえるように、大会前年度より関係機関と連携をとりながら、大会中、大会後も含めたおもてなしの実施を計画する。				特定財源の状況		
備考							

事業区分	新規	事業名	総合体育館改修事業				
所管課	602	生涯学習課	(教育委員会事務局)		宇陀市予算		
事業の目的	平成27年7月に開催される全国高校総合体育大会(インターハイ)の空手競技の開催会場となることと決定したため、老朽化した施設の改修を行いスポーツ環境の充実を図る。 また、今回の高校総体を成功させることにより、宇陀市を県内外からの来場者にアピールし、南部東部地域の振興につなげていく。				区分	No.	区分名
					款	9	教育費
					項	6	保健体育費
					目	2	体育施設費
細目	62	総合体育館費					
根拠条例等							
総合計画	基本計画 第4章 第5節 スポーツ・レクリエーションの充実						
H26年度事業の概要	(委託関係) ・設計監理委託 4,532,000円 ・グラウンド外周スギ立木伐採 933,000円 ・台杉剪定 154,000円 (工事関係) ・総合体育館改修工事 39,598,000円 【体育館空調設備工事、東側駐車場舗装修理、内壁塗装】				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	老朽化した施設を改修整備することにより、スポーツ大会での活用や安心・安全な施設でスポーツを楽しみたいという利用者の増加を図る。 また、様々なスポーツを定着させ、社会体育の継続を図るとともに、地域の活性化につなげていく。				使用料		
					国費		
					県費		
					市債	41,900	
					その他		
					一般財源	3,317	
補正額	45,217						
H26補正前予算額							
H26現計予算額	45,217						
事業の目標	スポーツ・レクリエーションの充実、体育施設利用者の促進を図る。 また、市体育館と同様に市民のスポーツ活動から全国規模の大会の開催まで活用されていることから、市体育館に準ずる拠点施設として整備していく。				特定財源の状況		
					合併特例債	41,900千円	
備考							

事業区分	新規	事業名	温水プール設備改修事業				
所管課	602	生涯学習課	(教育委員会事務局)		宇陀市予算		
事業の目的	空冷ヒートポンプチラーは、室内の冷暖房を管理するための必要な装置であるが、経年劣化が進んでいることから、年次的に交換工事を行い、利用者が安全・安心して温水プールの利用ができるよう整備する。				区分	No.	区分名
					款	9	教育費
					項	6	保健体育費
					目	2	体育施設費
細目	63	温水プール費					
根拠条例等							
総合計画	基本計画 第4章 第5節 スポーツ・レクリエーションの充実						
H26年度事業の概要	・空冷ヒートポンプチラー交換 19,000,000円				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	利用者が安全で安心して温水プールの利用ができ、水泳の練習及び年齢や体力に応じ、気軽に健康増進・維持のための体力づくりを行うことができる。また、小中学校の教育課程の水泳の授業でも温水プールは活用されており、子ども達に水泳の楽しさを味わわせ、スポーツに親しむ姿勢を養うことに貢献している。				使用料		
					国費		
					県費		
					市債		18,000
					その他		
					一般財源		1,000
	補正額		19,000				
	H26補正前予算額						
	H26現計予算額		19,000				
事業の目標	充実したスポーツ施設を整備することにより、スポーツ大会での活用や、安心・安全な施設でスポーツを楽しみたいという利用者、また、高齢者の割合の増加、生活習慣病予防に対する意識の高まりに対応した、市民の健康増進や体力向上の場を目指す。				特定財源の状況		
					合併特例債		18,000千円
備考							

事業区分	継続	事業名	公共土木災害復旧事業	
所管課	181	建設課	(建設部)	
事業の目的	災害の速やかな復旧を行い公共の福祉を確保する。			
	区分	No.	区分名	
	款	10	災害復旧費	
	項	2	公共土木施設災害復旧費	
	目	1	公共土木施設災害復旧費	
細目	1	本庁公共土木施設災害復旧費		
根拠条例等	公共土木施設災害復旧事業国庫負担法			
総合計画	基本計画 第3章 第2節 道路交通網の整備			
H26年度事業の概要	公共土木施設災害復旧事業			財源の内訳 (単位:千円)
	公共土木施設災害復旧工事 変更前 測量・設計委託料 5,000千円 公共土木施設災害復旧工事 15,000千円 合計 20,000千円 変更後 測量・設計委託料 5,000千円 公共土木施設災害復旧工事 15,000千円 地すべり災害 測量・設計 10,000千円 合計 30,000千円			分担金 使用料 国費 県費 市債 10,000 その他
事業の成果	市が管理する市道、河川で災害で被災した箇所を速やかに復旧し、生活の安全を確保する。			
	一般財源			
	補正額			10,000
	H26補正前予算額			20,000
H26現計予算額			30,000	
事業の目標	市が管理する市道、河川で災害で被災した箇所を速やかに復旧し、生活の安全を確保する。			特定財源の状況
				災害復旧事業債 10,000千円
備考				

平成 26 年度 宇陀市 住宅新築資金等貸付事業特別会計 補正予算 [第 1 号] 事業別シート

事業区分	継続	事業名	住宅新築資金等貸付事業				
所管課	102	人権推進課	(市民環境部)		宇陀市予算		
事業の目的	歴史的社会的理由により生活環境等の安定向上が阻害されている地域の環境改善を図るため、町村条例に基づき貸付を行っていた「住宅新築資金」「宅地取得資金」「住宅改修資金」について、貸付けを行った資金を公正で適正かつ効率的に回収すること。				区分	No.	区分名
					款	3	前年度繰上充用金
					項	1	前年度繰上充用金
					目	1	前年度繰上充用金
細目	1	前年度繰上充用金					
根拠条例等							
総合計画							
H26年度事業の概要	貸付制度は平成13年度で廃止されたが、その後の償還等に係る事務を行っている。公正で効率的に償還を進めるため、平成17年1月に設立された奈良県住宅新築資金等貸付金回収管理組合に加入し、債権の回収を管理組合が行い、その会計処理を特別会計で処理している。 ○奈良県住宅新築資金等貸付金回収管理組合 構成市町村 奈良市、大和高田市、大和郡山市、天理市、橿原市、五條市、御所市、葛城市、宇陀市、山添村、三郷町、川西町、三宅町、田原本町、曾爾村、御杖村、高取町、王寺町、河合町、吉野町 ○旧町村の最終貸付年度 大字陀町：昭和61年度(新築)、菟田野町：平成13年度(宅地)、榛原町：平成8年度(新築)、室生村：平成10年度(宅地) ○住宅新築資金起債残高(平成26年3月末現在)111,702,611円 ○最終起債返済年度：平成38年度(最終貸付：平成13年度)				財源の内訳 (単位：千円)		
					分担金		
事業の成果	平成25年度貸付金回収状況 (単位：円)				使用料		
	現年度		過年度		合計		
	調定額	収納額	調定額	収納額	調定額	収納額	
	36,485,912	15,314,661	513,859,036	17,839,964	550,344,948	33,154,625	
					国費		
					県費		
				市債			
				その他	354,408		
				一般財源			
				補正額	354,408		
				H26補正前予算額			
				H26現計予算額	354,408		
事業の目標	住宅新築資金等貸付金を借受者より回収する。 ○平成25年度末残債額 237件 614,164,271円 ○平成25年度当初債権数 257件 順調債権35件 滞納債権126件 償還なし96件				特定財源の状況		
					回収管理組合返戻金 354,408千円		
備考							

事業区分	新規	事業名	市営霊苑トイレ改修事業				
所管課	103	環境対策課	(市民環境部)		宇陀市予算		
事業の目的	宇陀市営赤人霊苑使用者が、安心快適に施設を利用できるように、老朽化したトイレを改修する。				区分	No.	区分名
					款	1	霊苑事業費
					項	1	霊苑事業費
					目	1	霊苑事業費
					細目	1	霊苑事業費
根拠条例等	宇陀市営霊苑条例						
総合計画	基本計画 第1章 第2節 生活環境の整備						
H26年度事業の概要	霊苑内トイレの改修のための設計業務を委託する。 施設改修設計業務委託料……2,949千円				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	壁にひび割れを起こすなど老朽化した汲み取り式のトイレの改修設計業務を今年度に完了する。				使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他	2,949	
					一般財源		
					補正額	2,949	
H26補正前予算額							
H26現計予算額	2,949						
事業の目標	トイレの改修設計業務を今年度に完了し、次年度以降に汲み取り式のトイレを改修して水洗化を行う。				特定財源の状況		
					霊苑基金繰入金	2,949千円	
備考							

平成 26 年度 宇陀市 国民健康保険事業特別会計(直診) 補正予算 [第 1 号] 事業別シート

事業区分	継続	事業名	宇陀市国民健康保険直営診療所事業			
所管課	123	健康増進課	(健康福祉部)			
事業の目的 国民健康保険法の規定に基づき、国民健康保険の被保険者等住民に対し療養の給付を行うため、宇陀市国民健康保険直営診療所を設置する。 過疎化・高齢化が進む医療過疎地域であり、交通の便も悪く総合的な診療を行う宇陀市立病院に行くにも不便であるため、へき地診療所において一次診療をおこない、早期に病気の原因を見極めて、高度な医療が必要な場合は、宇陀市立病院と連携を図り、早期治療が出来るよう医療体制の充実を促進する。 また、往診等を行う事により、在宅医療の充実を図る。			宇陀市予算			
			区分	No.	区分名	
			款	5	前年度繰上充用金	
			項	1	前年度繰上充用金	
			目	1	前年度繰上充用金	
細目	1	前年度繰上充用金				
根拠条例等	宇陀市国民健康保険直営診療所条例・宇陀市国民健康保険直営診療所管理運営規則					
総合計画	基本計画 第2章 第2節 地域医療体制の充実					
H26年度事業の概要	診療所の運営については、事務の見直しを行い、通常の診療はもとより、夜診や往診なども積極的に行うなど、地域医療も取り組んでいるが、患者数、診療報酬額等、年々減少傾向にあるのが現状であり、平成25年度においては、5,889千円の歳入不足が生じ、平成26年度の補正予算として当該金額の繰上充用を行い、補正後の予算総額は156,089千円となる。 【歳入】 診療収入 5,889千円 【歳出】 前年度繰上充用金 5,889千円		財源の内訳 (単位:千円)			
	事業の成果	これらの直営診療所がある地域は、過疎化・高齢化が進んでおり、一人暮らしや高齢者だけの世帯が多いうえ、交通の便が悪く医療過疎地域になるため、第一次診療を行う「へき地医療機関」として、地域住民の疾病の早期発見・早期治療の場としての役割を担っている。		分担金		
使用料			国費			
国費			県費			
県費			市債			
市債			その他			
一般財源	5,889	補正額	5,889			
H26補正前予算額		H26現計予算額	5,889			
事業の目標	医療過疎地域における医療体制の充実 高齢社会における安心・安全の地域づくりの推進		特定財源の状況			
	備考					

事業区分	新規	事業名	簡易水道事業資産台帳整備委託					
所管課	501	水道部総務課	(水道局)					
事業の目的	同一サービス・同一料金の観点及び1自治体1事業の考えから平成28年度中に上水道会計事業と簡易水道事業の統合を目指す。				宇陀市予算			
					区分	No.	区分名	
					款	1	総務費	
					項	1	総務管理費	
					目	1	総務管理費	
細目	1	総務管理費						
根拠条例等	宇陀市簡易水道の設置等に関する条例、宇陀市簡易水道事業給水条例							
総合計画	基本計画 第3章 第4節 上下水道の整備							
H26年度事業の概要	平成18年1月1日の合併に伴い、宇陀市では上水道事業1カ所、簡易水道事業15カ所、飲料水供給事業5カ所の計21カ所の事業を有している。今後は、簡易水道統合計画に基づき、平成28年度中に上水道事業へと統合する予定であるが統合に当たっては、簡易水道事業及び飲料水供給事業における各資産の状況を整理し、地方公営企業法適用に向けた資料作成を行う。				財源の内訳 (単位:千円)			
					分担金			
事業の成果	資産台帳・施設評価台帳を整備し、減価償却費の算出準備を進める。				使用料			
					国費			
					県費			
					市債			
					その他	6,700		
					一般財源			
事業の目標	引き続き国庫補助を受け事業を進めるため、経営統合を目指す。				補正額	6,700		
					H26補正前予算額			
					H26現計予算額	6,700		
備考					特定財源の状況			
					簡易水道事業施設基金繰入金 6,700千円			

事業区分	新規	事業名	簡易水道料金滞納整理業務委託				
所管課	501	水道部総務課	(水道局)		宇陀市予算		
事業の目的	簡易水道料金の滞納額の削減を図る。				区分	No.	区分名
					款	1	総務費
					項	1	総務管理費
					目	1	総務管理費
					細目	1	総務管理費
根拠条例等	宇陀市簡易水道事業の設置等に関する条例、宇陀市簡易水道事業給水条例						
総合計画	基本計画 第3章 第4節 上下水道の整備						
H26年度事業の概要	簡易水道料金の徴収の外部委託に伴う上水道会計への委託料の増額				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	滞納繰越額を抑制しさらに減少に導き、使用者の公平性の確保を図る。				使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他		
					一般財源		2,366
補正額		2,366					
H26補正前予算額							
H26現計予算額		2,366					
事業の目標	水道料金の滞納額の減少				特定財源の状況		
備考							

事業区分	新規	事業名	古大野浄水場修繕					
所管課	503	水道部浄水課	(水道局)					
事業の目的	原水が溜池からの流入になっているため着水井へ活性炭を投入する。また、色度の水準が年間を通して2.5と値が高いので、浄水池とろ過装置間に活性炭ろ過器を設け色度の改善を図る。				宇陀市予算			
					区分	No.	区分名	
					款	1	総務費	
					項	1	総務管理費	
					目	1	総務管理費	
細目	1	総務管理費						
根拠条例等	宇陀市簡易水道事業の設置等に関する条例、宇陀市簡易水道事業給水条例							
総合計画	基本計画 第3章 第4節 上下水道の整備							
H26年度事業の概要	原水に含まれる有機性成分の色度を除去するために、活性炭ろ過器を設置し安全・安心な水づくりを行う。				財源の内訳 (単位:千円)			
					分担金			
事業の成果	機器を設置することにより、水質を向上させ、安心して飲料水の供給ができる。				使用料			
					国費			
					県費			
					市債			
					その他	3,760		
					一般財源			
事業の目標	機器を設置することにより、安全で安定した水の供給を図る。				補正額	3,760		
					H26補正前予算額			
					H26現計予算額	3,760		
事業の目標					特定財源の状況			
					簡易水道事業施設基金繰入金 3,760千円			
備考								

事業区分	継続	事業名	室生中央簡易水道整備事業		
所管課	502	水道部工務課 (水道局)	宇陀市予算		
事業の目的	奈良県水道局は、平成26年度に室生大野・三本松へ県営水道を送ることが現実となった。このことから室生川の水利権が自動消滅する暫定水利であることや、内山浄水場の老朽化に伴う大改造に多大な経費を費やす必要がなくなったこと等により、三本松に受水池を建設し県営水道に切り替え、古大野飲料水供給施設と統合整備することとした。		区分	No.	区分名
			款	1	総務費
			項	2	施設整備費
			目	1	施設整備費
細目	10	施設整備費			
根拠条例等	宇陀市簡易水道事業の設置等に関する条例、宇陀市簡易水道事業給水条例				
総合計画	基本計画 第3章 第4節 上水道の整備				
H26年度事業の概要	県営水道切替に伴う 仕切り弁・減圧弁修正 新設・既設施設改良詳細設計業務		財源の内訳 (単位:千円)		
			分担金		
事業の成果	現在、宇陀川と室生川を原水として内山浄水場で水をつくり、三本松配水池にポンプ加圧して溜めている。これを県営水道の水源に切り替えることにより浄水場の運転経費及び維持管理経費削減につながる。古大野飲料水供給施設においてもこの給水区域と統合することにより、室生中央簡易水道区域として安全・安心な水が安定的に供給できる。		使用料		
			国費	4,050	
			県費		
			市債	12,000	
			その他	3,950	
			一般財源	▲ 300	
			補正額	19,700	
H26補正前予算額					
H26現計予算額	19,700				
事業の目標	簡易水道各施設の維持管理費の削減。 宇陀市民が安心して暮らせる生活環境づくり。		特定財源の状況		
			簡易水道施設等整備費補助金	4,050千円	
備考			過疎対策事業債	6,000千円	
			簡易水道事業債	6,000千円	
			簡易水道事業施設基金繰入金	3,950千円	

事業区分	新規	事業名	室生大野神田地区老朽管布設替工事				
所管課	502	水道部工務課	(水道局)				
事業の目的	室生大野神田地域において漏水しているが、里道に配水管が埋設されているものの、地形が事業当時と変わっている中で、漏水箇所が不明のため現在露出仮設配管により供給している。今回、水道の安定供給を行うに当たり本設工事を行う。尚、維持管理上、現在の里道から市道に給水管の移設を行う。				宇陀市予算		
					区分 No.	区分名	
					款	1	総務費
					項	2	施設整備費
					目	1	施設整備費
細目	10	施設整備費					
根拠条例等	宇陀市簡易水道事業の設置等に関する条例、宇陀市簡易水道事業給水条例						
総合計画	基本計画 第3章 第4節 上下水道の整備						
H26年度事業の概要	配水管 φ40 L=85m 舗装復旧工(アスファルト) t=3cm A=180㎡ 舗装復旧工(コンクリート) t=10cm A=23㎡ 給水戸数 3戸				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	老朽管の更新及び市道に埋設することにより維持管理の効率化を図り、安定した水道の供給が図られる。				使用料		
					国費		
					県費		
					市債	3,600	
					その他	100	
					一般財源		
					補正額	3,700	
H26補正前予算額							
H26現計予算額	3,700						
事業の目標	老朽管の更新及び市道に埋設することにより維持管理の効率化を図り、安定した水道の供給が図られる。				特定財源の状況		
					過疎対策事業債 1,800千円 簡易水道事業債 1,800千円 簡易水道事業施設基金繰入金 100千円		
備考							

事業区分	新規	事業名	室生向湊地内老朽管布設替工事					
所管課	502	水道部工務課	(水道局)					
事業の目的	室生向湊地域において現在県道改良工事が実施されている。工事区間外の農地に配水管が埋設されているため、維持管理上、現在の農地から県道改良の歩道部に配水管の移設を行う。				宇陀市予算			
					区分	No.	区分名	
					款	1	総務費	
					項	2	施設整備費	
					目	1	施設整備費	
細目	10	施設整備費						
根拠条例等	宇陀市簡易水道事業の設置等に関する条例、宇陀市簡易水道事業給水条例							
総合計画	基本計画 第3章 第4節 上下水道の整備							
H26年度事業の概要	配水管φ75 L=100m 消火栓 1基				財源の内訳 (単位:千円)			
					分担金			
事業の成果	県道に埋設することにより維持管理の効率化を図り、安定した水道の供給が図られる。				使用料			
					国費			
					県費			
					市債			
					その他	3,000		
					一般財源			
					補正額	3,000		
H26補正前予算額								
H26現計予算額	3,000							
事業の目標	県道に埋設することにより維持管理の効率化を図り、安定した水道の供給が図られる。				特定財源の状況			
					簡易水道事業施設基金繰入金 3,000千円			
備考								

事業区分	新規	事業名	宇陀市水道施設データ統合化業務							
所管課	502	水道部工務課	(水道局)							
事業の目的	宇陀市において、簡易水道、上水道あわせて約484Kmの送・配水管が埋設されているが、管路台帳が上水は道路台帳をベースに、簡水はゼンリン地図をベースにと、それぞれ異なっており管理に苦慮している状況である。特に簡水については、ゼンリン地図であることから道路台帳との整合性が無く特に苦慮している状況である中で、平成28年度簡水、上水の統合の一環として台帳を統一することにより管理の一元化を図ることを目的とする。									
						区分	No.	区分名		
						款	1	総務費		
						項	2	施設整備費		
						目	1	施設整備費		
細目	10	施設整備費								
根拠条例等	宇陀市簡易水道事業の設置等に関する条例、宇陀市簡易水道事業給水条例									
総合計画	基本計画 第3章 第4節 上下水道の整備									
H26年度事業の概要	簡易水道台帳図形データ読み込み+マップデジ委託業務 パソコン購入									
						財源の内訳 (単位:千円)				
事業の成果	上水は、道路台帳をベースとしており維持管理上適切に管理できる。また、現在の簡易水道台帳は、給水、拡張事業を業者委託となっており、その経費が削減できる。									
						分担金				
						使用料				
						国費				
						県費				
市債										
その他	8,187									
一般財源										
補正額	8,187									
H26補正前予算額										
H26現計予算額	8,187									
事業の目標	簡易水道の安定供給。 宇陀市民が安心して暮らせる生活環境づくり。									
						特定財源の状況				
備考	簡易水道事業施設基金繰入金 8,187千円									

事業区分	継続	事業名	下水道管理費			
所管課	162	下水道課	(水道局)			
事業の目的 ●使用料滞納額の削減 ●雨天時に汚水量が増加することについて、宅内の雨水排水が汚水管へ誤接続されていないか等を調査する。			宇陀市予算			
			区分	No.	区分名	
			款	1	下水道費	
			項	1	下水道費	
			目	2	下水道管理費	
細目	1	下水道管理費・公共				
根拠条例等	宇陀市下水道条例					
総合計画	基本計画 第3章 第4節 上下水道の整備					
H26年度事業の概要	●使用料滞納金の徴収外部委託に伴う、上水道会計への委託料の増額 3,066千円 ●雨天時に汚水量増加が著しい天満台地区について調査を委託する。 1,000千円			財源の内訳 (単位:千円)		
				分担金		
事業の成果	●増加する使用料の滞納繰越額を抑え、さらに減少に導く ●誤接続宅地の発見			使用料		
				国費		
				県費		
				市債		
				その他		
				一般財源	4,066	
補正額	4,066					
H26補正前予算額	18,490					
H26現計予算額	22,556					
事業の目標	●使用料滞納額の減少 ●誤接続の解消により処理場へ流入する水量の減量			特定財源の状況		
備考						

事業区分	継続	事業名	天満台地区管路更生工事(長寿命化事業)				
所管課	162	下水道課	(水道局)		宇陀市予算		
事業の目的	老朽化が進んでいる天満台地区の下水道管の長寿命化計画に基づき、管路更生工事を計画的に実施し、管路の長寿命化及び不明水を排除することにより、管理費の抑制を図る。				区分	No.	区分名
					款	1	下水道費
					項	2	公共下水道建設費
					目	1	公共下水道建設費
					細目	1	公共下水道・補助
根拠条例等	社会資本整備総合交付金交付要綱						
総合計画	基本計画 第3章 第4期 上下水道の整備						
H26年度事業の概要	「社会資本整備総合交付金事業(国交省)」 全体計画年度 H22年度～28年度 全体計画の概要 長寿命化対策管路更生工事 L=1.2Km φ=250mm H26年度の事業費 36,000,000円				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	既設管路の長寿命化を得る。				使用料		
					国費	17,000	
					県費		
					市債	20,400	
					その他		
					一般財源	▲ 1,400	
					補正額	36,000	
H26補正前予算額	12,800						
H26現計予算額	48,800						
事業の目標	劣化した埋設管を早期に更生することにより事故等を未然に防ぐと共に侵入水の減量を図る。				特定財源の状況		
					社会資本整備総合交付金	17,000千円	
備考					公共下水道債	20,400千円	

事業区分	新規	事業名	榛原第2中継ポンプ場長寿命化事業					
所管課	162	下水道課	(水道局)					
事業の目的	昭和63年度から供用開始している本施設の老朽化に対し、長寿命化計画に基づき、設備の更新及び整備を行い、施設の長寿命化を図る。				宇陀市予算			
					区分	No.	区分名	
					款	1	下水道費	
					項	2	公共下水道建設費	
					目	1	公共下水道建設費	
細目	1	公共下水道・補助						
根拠条例等	社会資本整備総合交付金交付要綱							
総合計画	基本計画 第3章 第4期 上下水道の整備							
H26年度事業の概要	「社会資本整備総合交付金事業(国交省)」 全体計画年度 H26～H30年度 全体計画の概要 除塵機、ポンプ、受変電器、自家発電機等更新及び整備 H26年度の事業 除塵機更新のための実施設計委託業務 6,000千円				財源の内訳 (単位:千円)			
					分担金			
事業の成果	老朽化している本施設の長寿命化対策を行い施設の安全運転を保つ。				使用料			
					国費	3,000		
					県費			
					市債	3,000		
					その他			
					一般財源			
					補正額	6,000		
H26補正前予算額								
H26現計予算額	6,000							
事業の目標	長寿命化対策を行うことで、施設のライフサイクルコストの最小化を図る。				特定財源の状況			
					社会資本整備総合交付金	3,000千円		
					公共下水道債	3,000千円		
備考								

事業区分	新規	事業名	宇陀市上下水道料金等滞納整理業務委託				
所管課	501	水道部総務課	(水道局)		宇陀市予算		
事業の目的	上下水道料金の収納率の向上				区分	No.	区分名
					款		
					項		
					目		
					細目		
根拠条例等	地方公営企業法第33条の2						
総合計画							
H26年度事業の概要	滞納整理等について業務のアウトソーシングを行う。				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	滞納額の縮減				使用料		2,688
					国費		
					県費		
					市債		
					その他		5,432
					一般財源		
					補正額		8,120
H26補正前予算額							
H26現計予算額		8,120					
事業の目標	上下水道料金の徴収率の向上、滞納額の縮減				特定財源の状況		
					使用料		2,688千円
備考					下水道・簡易水道料金事務受託料		5,432千円

事業区分	継続	事業名	天満台地区老朽管布設替工事						
所管課	502	水道部工務課 (水道局)	宇陀市予算						
事業の目的	当地域は昭和49年～51年にかけて民間デベロッパーにより造成された住宅地で、完成後36年経過しており、老朽等により漏水事故が年々増加傾向にあり安定供給に支障を及ぼしていることから、既設管の更新を行い安定供給を図る。					区分	No.	区分名	
						款		/	
						項			
						目			
						細目			
根拠条例等	水道法第15条								
総合計画	基本計画 第3章 第4節 上下水道の整備								
H26年度事業の概要	老朽管布設替工事(舗装復旧含) HPPE φ100 L=200m レンタル管 φ100 L=200m					財源の内訳 (単位:千円)			
	老朽管布設替工事により、安心・安全な水の安定供給が図られる。					分担金			
使用料									
国費									
県費									
市債									
事業の成果						その他			
						一般財源	8,000		
						補正額	8,000		
						H26補正前予算額			
						H26現計予算額	8,000		
事業の目標	老朽管布設替工事により、安心・安全な水の安定供給が図られる。					特定財源の状況			
備考									

事業区分	継続	事業名	水道施設更新事業				
所管課	503	水道部浄水課	(水道局)		宇陀市予算		
事業の目的	桧牧上水道施設内の維持管理及び計器類の修繕・更新を行う。				区分	No.	区分名
					款		
					項		
					目		
					細目		
根拠条例等	水道法第15条						
総合計画	基本計画 第3章 第4節 上下水道の整備						
H26年度 事業の概要	水道施設の維持管理 総額 16,948千円 桧牧浄水場取水施設工事 桧牧浄水場資材置場改良工事 桧牧浄水場中央監視記録計更新工事 玉立送水ポンプ修繕工事 玉立送水流量計更新工事				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	桧牧上水道施設内維持管理の効率化を図り、修繕・更新を行うことにより、安定した水道水を供給する。				使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他		
	一般財源	16,948					
	補正額	16,948					
	H26補正前予算額						
	H26現計予算額	16,948					
事業の目標	維持管理の効率化を図り、安定した水道水の供給を図る。				特定財源の状況		
備考							